

2025 年度 OPEN CAMPUS

(予定)

2025年8月 3日(日) オープンキャンパス

2025年8月30日(土) 夏のキャンパス見学 & 相談会

2026年3月21日(土) 春のキャンパス見学 & 相談会



オープンキャンパス・入試に関するお問い合わせ先

アドミッションセンター TEL : 092-692-3100(直通) MAIL : nyushi-qa@fwu.ac.jp

公立大学法人 福岡女子大学 大学案内 2026 FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

ACCESS

【天神方面】

○バス／西鉄バス「天神中央郵便局前」—[福岡都市高速経由約15分]→「福岡女子大前」—[徒歩約1分]→福岡女子大学着

○電車／地下鉄空港線「天神」駅—[約1分]→地下鉄貝塚線「中洲川端」駅—[約9分]→西鉄貝塚線「貝塚」駅

—[約9分 or 約12分]→西鉄貝塚線「西鉄香椎」駅 or 西鉄貝塚線「香椎花園前」駅—[徒歩約12分 or 約10分]→福岡女子大学着

【博多方面】

○電車／JR鹿児島本線「博多」駅—[快速約10分・普通約12分]→JR鹿児島本線「香椎」駅—[徒歩約15分]→福岡女子大学着

*徒歩分数は1分=80mで計算しています。※所要時間は日中平常運行のものです。乗り換え・待ち時間は含まれておりません。



公立大学法人
福岡女子大学
大学案内 2026

Fukuoka Women's University



躍動する福女大

FWU on the Move

福女大生、未来をつくるのはあなたです

Shape the Future

学長メッセージ

大学一それは、生涯にわたり互いに支えあう仲間をつくる場所、人や書物との対話を通して多元的なものの見方を身につける場所、学問を究め「ユリーカ(やったぁ)!」と発見の喜びを発する場所、そして修得した知見をもとに潜在する社会的課題の解決を図らんとする構えをつくり、実践する場所であると言えます。その環境づくりのために、福岡女子大学は、〈文理統合〉〈グローバル教養〉〈言語教育〉〈海外留学〉〈国際学友寮での初年次全寮制〉〈体験的学習〉などに力を点をおく教育を行っています。

福岡女子大学は2023年に創立100周年を迎えました。大正デモクラシーのうねりのなか、福岡の女性たちが自ら声をあげ、女子高等教育の機会を求めて、福女大創設の端緒を開きました。全国に類を見ない行動です。その気概が伝統の中に流れ、時代折々の変化を取りしながら変革を重ねて、今日ある姿にまで発展してまいりました。小規模ながら、教育と研究に意欲旺盛で、国際文理学部の名に相応しい、学生中心のアカデミック・コミュニティとなりました。その成果は、「THE日本大学ランキング2025」において、日本の全大学中48位、女子大学中2位という評価となって表れています。この評価をいっそう高めるには、大学の教育理念であるリベラル・アーツを基本に据えながら、社会が求める人材像に呼応して、教育体制や授業内容を絶えず見直し、更新することが重要だと考えます。この営みを通して、男女が等しく、ともに活躍する社会の実現に寄与できるものと信じます。

理事長兼学長 向井 剛

学部・研究科の構成

大学

国際文理学部

国際教養学科

環境科学科

食・健康学科

- 環境自然科学履修コース
- 環境マネジメント履修コース

- 管理栄養士養成課程

New!

改組後

[新設] 環境理工学科 ※仮称

[新設] 生活情報工学科 ※仮称

・設置計画は予定であり変更する場合があります。

くわしくはP.51

2027年4月
改組予定

大学院

人文社会科学研究科

【博士前期課程】

言語文化専攻

- 日本言語文化コース
- 英語圏言語文化コース

【博士後期課程】

言語文化専攻

社会科学専攻

- 国際産業社会コース
- 国際関係コース

【博士前期課程】

人間環境科学専攻

- 環境自然科学領域
- 栄養健康科学領域
- 環境マネジメント領域

【博士後期課程】

人間環境科学専攻

- 環境科学領域
- 栄養健康科学領域
- 環境マネジメント領域

CONTENTS

P.01	学長メッセージ	P.19	学部共通科目	P.41	女性リーダーシップセンター
P.02	学部・研究科の構成	P.21	副専攻プログラム	P.42	国際フードスタディセンター
	目次	P.23	国際教養学科	P.43	就職支援
P.03	大学の基本理念	P.27	環境科学科	P.45	施設紹介
P.04	沿革	P.31	食・健康学科	P.49	サークル活動
P.05	FWU COMPASS	P.35	教員紹介	P.50	キャンパスカレンダー
P.07	FWU COMPASS Pick Up	P.37	大学院	P.51	新学科設置計画について
P.17	国際文理学部	P.39	地域交流	P.53	学費・奨学金、地域別出願・入学者数
		P.40	研究支援	P.54	入試実績

※この大学案内に掲載している内容は、作成時点(2025年4月)での情報に基づいており、変更される場合があります。

History

[大学の基本理念]

次代の女性リーダーを育成

[教育の理念]

時代や社会の変化に柔軟に対応できる豊かな知識と確かな判断力、しなやかな適応力を持ち、アジアや世界の視点にたって、国内はもとより、海外の国や地域において、より良い社会づくりに貢献することのできる人材を育成する。

[大学のビジョン]

- ・女性が高い志と柔軟な発想を持ち、リーダーシップを發揮し、地域や世界を舞台に活躍できる社会を目指す。

[大学のミッション]

- ・女性が国際的な感性を持ち、主体的に活躍することを支援する。
- ・地域社会の人々の幸福を求め、地域社会の学術・文化・生活の振興に中心的役割を果たす。

Visual Identity

本学は1923年、全国初の公立女子高等教育機関として誕生しました。その輝かしい実績を示す明星、知徳を表す稜鏡、婦人の徳を白いなでしこの花であしらった女専時代の校章に込められた想いを生かし、その伝統を継承し未来へ発展させる誓いとして、シンボルマークを制定しています。



公立大学法人
福岡女子大学
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

沿革

1923(大正12)年 4月17日、わが国最初の公立女専として福岡市須崎裏町(現中央区天神5丁目)に福岡県立女子専門学校を開校。文科、家政科の2科を設置。初代校長、小林照朗。

1925(大正14)年 福岡県女子専門学校と改称。

1926(大正15)年 研究科(文科研究科、家政科研究科)を設置。

1927(昭和2)年 女専卒業生同窓会「筑紫海会」発会。

1935(昭和10)年 別科を設置。

1937(昭和12)年 火災により須崎校舎が講堂・体育館を残し全焼。

因幡町(現中央区天神2丁目)の県立福岡高等女学校旧校舎を仮校舎とする。

1944(昭和19)年 文科、家政科を廃し、数学科、物理化学科、保健科を設置。研究科、別科を廃止。田島(現城南区田島)に寮落成。須崎寮より移転。

1945(昭和20)年 6月19日、空襲で因幡町の仮校舎が全焼。田島の同窓会館及び寮の一部を仮校舎とする。終戦を迎える須崎裏町の講堂・体育館を間仕切りし仮校舎とする。

1946(昭和21)年 物理化学科を廃し、国語科を設置。

1950(昭和25)年 4月24日、須崎裏町に福岡女子大学を開学。初代学長、奥田謙。学芸学部(国文学専攻、英文学専攻、生活科学専攻)を設置。

1951(昭和26)年 糟屋郡香椎町大字浜男(現東区香住ヶ丘)に初代香住ヶ丘校舎(香椎校舎)第1年度分完成につき移転開始。福岡県女子専門学校を廃止。

1953(昭和28)年 香住ヶ丘校地(香椎校地)内に初代香住ヶ丘寮(香椎寮)落成。田島寮より移転。11月7日、移転完了祝賀式典を挙行。

1954(昭和29)年 2学部体制に整備。文学部(国文学科、英文学科)、家政学部(家政学科食物学専攻、同被服学専攻、家庭理学科)を設置。

1993(平成5)年 大学院文学研究科修士課程(国文学専攻、英文学専攻)を設置。

1995(平成7)年 家政学部を人間環境学部に改組。環境理学科、栄養健康科学科、生活環境学科を設置。

1997(平成9)年 大学院文学研究科博士後期課程(英文学専攻)を設置。

2000(平成12)年 大学院人間環境学研究科修士課程(環境理学専攻、栄養健康科学専攻、生活環境学専攻)を設置。

2006(平成18)年 大学の設置者が「福岡県」から「公立大学法人福岡女子大学」となる。

2011(平成23)年 國際文理学部(國際教養学科、環境科学科、食・健康学科)を設置。

2015(平成27)年 大学院人文社会科学研究科修士課程(言語文化専攻、社会科学専攻)、人間環境科学研究科修士課程(人間環境科学専攻)を設置。

2017(平成29)年 大学院人文社会科学研究科博士後期課程(言語文化専攻、社会科学専攻)、人間環境科学研究科博士後期課程(人間環境科学専攻)を設置。

2018(平成30)年 クオーター制を開始。

2023(令和5)年 創立100周年。



1929(昭和4)年頃 須崎キャンパス正門にて

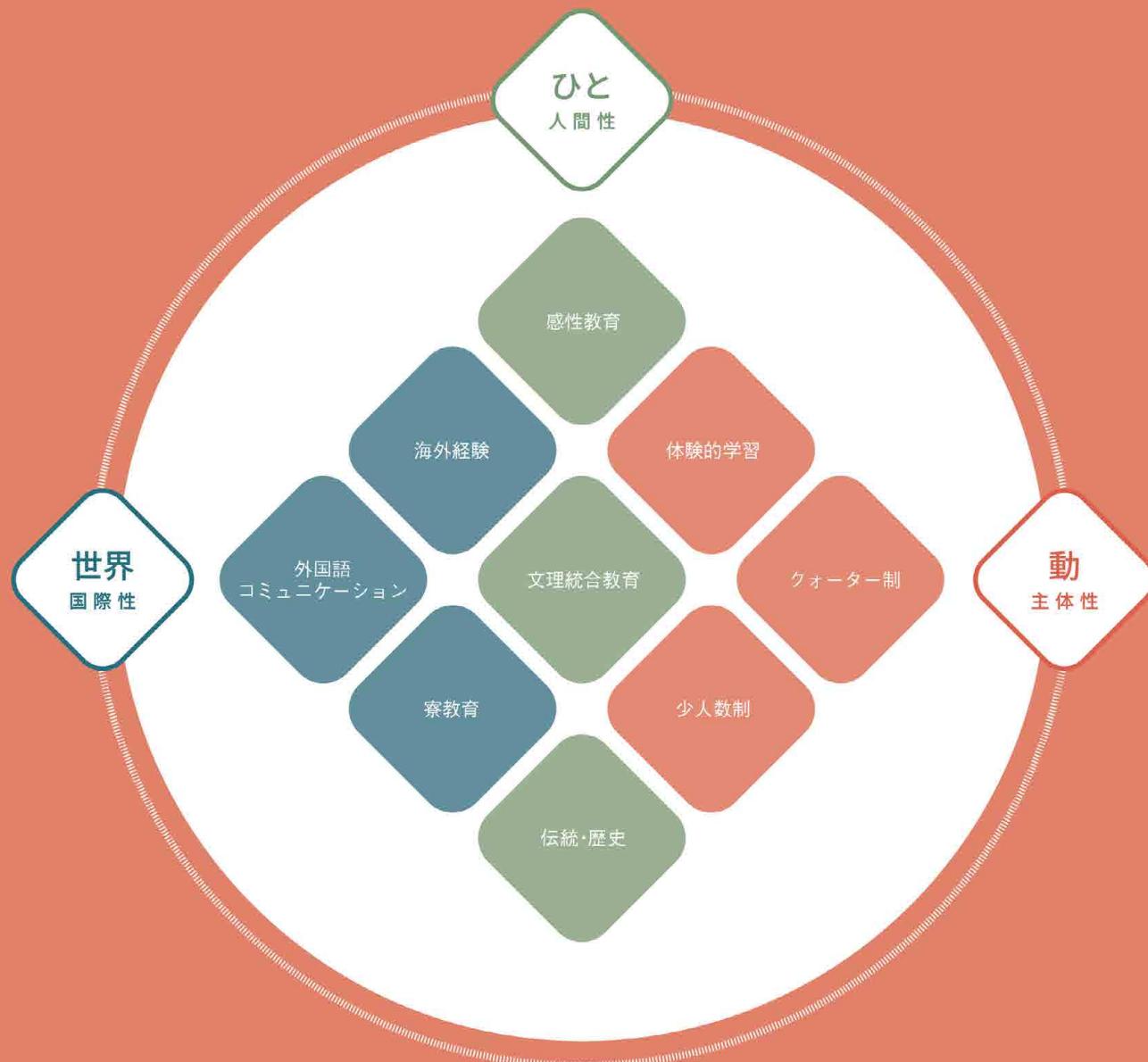


1933(昭和8)年頃 須崎キャンパス遠景



1953(昭和28)年頃 香住ヶ丘(香椎)キャンパスの階段教室にて

世界を動かす



FWU COMPASS

「FWU COMPASS」とは、国際文理学部設置の意義をふまえ、
学部教育の目的、手法等をわかりやすく示したものです。

「世界を動かすひとをつくる」は、国際文理学部の教育理念を凝縮して表しています。
「ひと一人間性ー」を「世界ー国際性ー」、「動ー主体性ー」が支え、
教育の中心には「文理統合教育」の理念・手法があります。

ひとをつくる。



「世界の一線大学で学ぶ」
「一度は海外で学ぶ」を可能に

海外経験 くわしくは…P.8-10

世界の優秀な大学と協定を結び、長期・
短期のさまざまな海外留学プログラムを
提供しています。学生の約60%が卒業まで
に何らかの形で留学を経験し、国際的な
感覚を身につけ集めています。

世界に通じる
コミュニケーション能力を育む
外国語コミュニケーション

全学科必修の学術・キャリア英語プロ
グラムをはじめ、留学疑似体験や寮での
活動など、実践的な英語力を身につける
仕組みが充実しています。また、留学生の
サポートや学生主体の語学学習イベント
を通して、複数の言語や文化にふれ、世界
に通用するコミュニケーション能力を養
うことができます。

1年次の全寮制教育で
社会性と国際性を養う

寮教育 くわしくは…P.11-12

ユニット4人の部屋で日本人学生(1
年次)と外国人留学生(1~4年次)がとも
に生活します。日本語だけでなくときには
外国語でのコミュニケーションの中で、
良好な人間関係を築く力や異文化に対する
理解力、自律する力を培います。定期的
な寮活動では学生の企画で寮生が交流し、
さまざまな学びを得られます。

100年の歴史に学び
女性の挑戦を次代へつなぐ
伝統・歴史

1923(大正12)年の開校当初から守り続
ける教育は、社会に生きる自分像を求め、
現代に生きる舞台を開拓し、次代へつなぐ
価値を創造する女性を育成する教育です。
2023(令和5)年で創立から100年を迎え、
15,000名を超える卒業生の学びと挑戦の
歴史を刻んできました。先輩方が積み上げ
てきた女性の学びの礎に感謝を抱きながら、女性の中でユニークさを磨きます。

次代のリーダーの「感じる心」を育む
感性教育

リーダーには「感性」の豊かさが求めら
れます。この「感性」について、言葉、歴史、
文化、環境、文学、国際、食、芸術、心、リ
ーダーシップ、人間性等、人文科学・社会科
学・自然科学のさまざまな視点を交えて
学びます。理論と実践を通じて、感性の働
きや意味・価値を考え、個々の感性を磨い
ていきます。世界の見え方が変わり、深い
思考とよりよい行動をおこす力を身につけ
ます。また、キャンパスには美術館があり、
研究棟や講義棟の廊下にも彫刻や絵画を
展示しています。日常的に芸術を目にし、手でふれ、感じられる環境です。

学問の垣根を越えた自由な学び
文理統合教育

国際文理学部の学問分野は幅広く、し
かもそれぞれが互いに影響を及ぼし合っ
ています。それは、私たちが生きる社会の
課題そのものです。FWUの文理統合教育
は、学問の垣根を越えた教育の多様性を
追求しています。多元的・複合的に思考す
る力を鍛え、副専攻プログラムで複数の
分野の専門性を身につけながら、社会を
多角的にとらえ、社会の課題解決に貢献
できるひとへの成長を目指します。

大学運営から海外まで
実社会で学び、
未来を切り拓く力を身につける
体験的学習 くわしくは…P.13-15

生活に必要なあらゆることをオンライン
上で行なうことが可能になった時代に
あって、学内外で実体験を重ねる学びを
大切にしています。自らの体験を言葉で
表すことを通じて、自己や他者、そして社
会について再考し、理解を深めながら諸
課題を解決していく実践的な力を培いま
す。例えば、大学という場所を教職員と共
に創りだしていく委員会やプロジェクト
への参画、企業やNPOとコラボしながら
の課題の発見・解決など、変化する社会の
中で「今」を学び、「自分自身」と共に、社会
のあるべき姿を描く力を伸ばします。

短期集中で豊かな学び
クオーター制

1年間の学修期間を4つの授業期間に分
けるクオーター制では1科目の授業が週に
2回あることで、学んだことが定着しやす
くなります。また、スケジュールを調整し
やすくなり、留学やインターンシップ
にも積極的に挑戦できます。

チャレンジしやすい環境で、
主体的に学び合う
少人数制 くわしくは…P.16

多くの授業が少人数で行われ、教える
側と学ぶ側の十分な相互理解に基づく
深い学びのための様々な工夫が図られ
ています。教員との対話、グループディ
スカッションやプレゼンテーションを
重ね、主体的に問題を解決する力、情報
を分かりやすく伝える力を培います。ま
た、一人ひとりが自分の個性と希望に
沿った学びの道のりを進んでいくよ
うに、「ファーストイヤー・ゼミ」や「アカ
デミック・アドバイザーシステム」、学び
を可視化する「学修ポートフォリオ」等
でサポートしています。



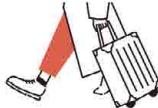
FWU COMPASS Pick Up

いかにして「世界を動かすひとをつくる」のか。具体的な項目をピックアップして紹介します。

#01

海外経験

くわしくは P.8



#02

寮教育

くわしくは P.11



#03

体験的学習

くわしくは P.13



#04

少人数制

くわしくは P.16



\ Pick Up /

#01 海外経験



海外留学を通してグローバルな人材に

国際舞台で活躍する人材を育成するために、

アジアをはじめ海外の教育機関との学術、学生交流に関する連携を積極的に推進しています。

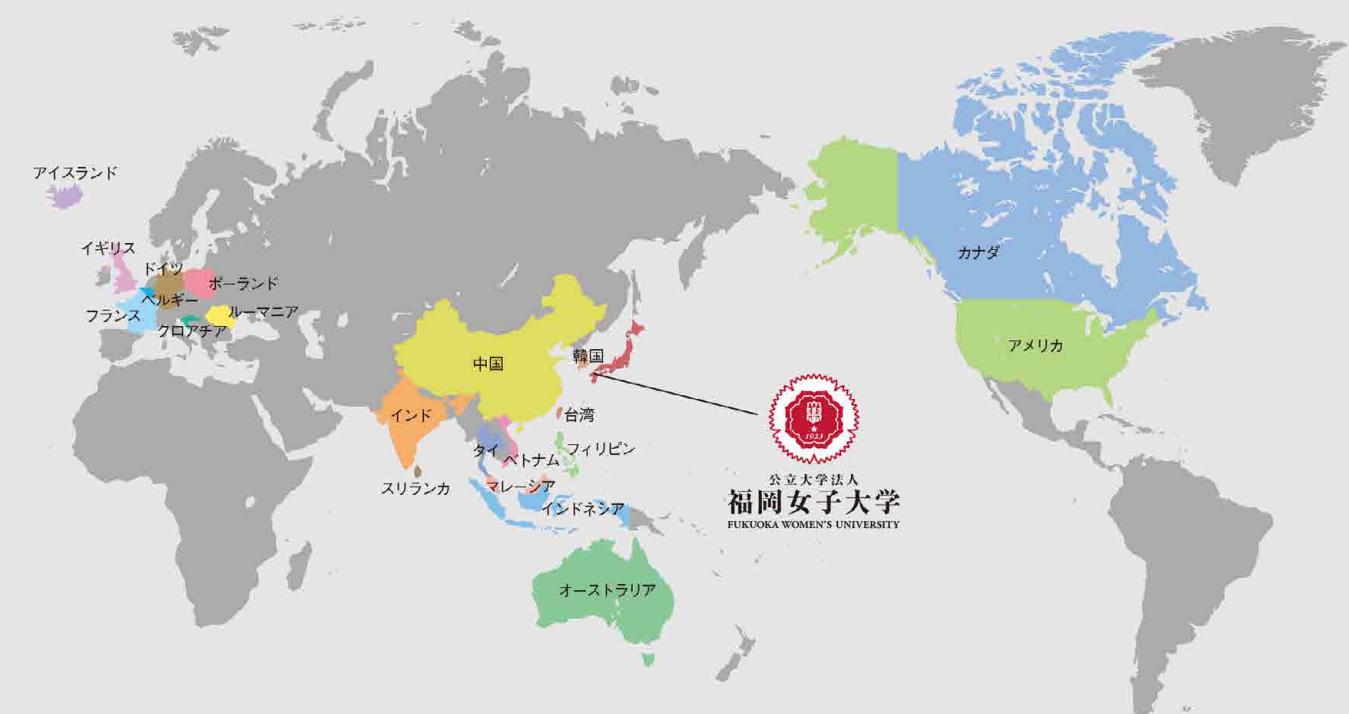
学生のニーズに対応した短期、長期の海外留学プログラムを幅広く提供しています。

※掲載内容は変更になることがあります。各プログラムの詳細と最新情報は国際化推進センターまでお問い合わせください。

交流協定校

21カ国・地域、35大学

世界各国の大学で学ぶことで、国際性豊かな感受性や語学力はもちろん、異文化への理解力などを身につける。



国・地域	大学・学部
中国	同済大学外国语学院及び女子学院
	大连大学
台湾	淡江大学
	国立東華大学
韓国	梨花女子大学校
	釜山外国语大学校
	東亜大学校
	ソウル大学校生活科学大学
	ソウル女子大学校
	檀国大学校
インド	デリー大学レディ・シュリラム女子カレッジ
インドネシア	ガジャマダ大学
	ボゴール農科大学

国・地域	大学・学部
スリランカ	ペラデニア大学
タイ	チュラロンコーン大学
	タマサート大学
	マヒドン大学
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校
マレーシア	マラヤ大学
	マレーシアブトラ大学
アイスランド	アイスランド大学
イギリス	マンチェスター大学人文学部
	キール大学
フランス	トゥールーズ大学ジャンジョレス校
ベルギー	ルーヴェン大学人文学部

国・地域	大学・学部
ドイツ	ミュンヘン大学
ポーランド	ワルシャワ大学地理地域研究学部
クロアチア	ユライドブリラ大学ブーラ
ルーマニア	ティミショアラ西大学
アメリカ	ジョージア大学
	スペルマン大学
	ハワイ大学西オアフ校
カナダ	プリンスエドワードアイランド大学
オーストラリア	フェデレーション大学

※2025年4月1日現在

交換留学

交流協定校への留学プログラム(半年～1年間)です。学生は本学を休学することなく、自分の専門分野を海外の大学で学びながら、多様な価値観を持つ世界各国の学生と交流を深めます。交換留学先で取得した単位は、一定の条件のもとで、30単位を限度に卒業要件単位として認められます。授業料は本学に納める学費のみで、協定校への支払いは不要です。

*交換留学プログラム参加者は、学内選考と申請先交流協定校の受け入れ審査を経て決定されます。交換留学に必要な英語能力は協定校により異なりますが、一般的にTOEFL-iBTのスコア61～80またはIELTSバンドスコア6.0～7.0が要求されます。GPAの基準を定めている協定校もあります。派遣可能者数は協定校により、また年度により異なります。



申請可能な海外留学奨学金(2025年度) 交換留学(半年～1年間)

留学 経費支援	奨学金
	① JASSO(日本学生支援機構)海外留学支援制度奨学金 月額8万円、9万円または11万円(留学先地域により異なる) ② 福岡女子大学基金海外留学等奨励金 月額3万円、4万円または5万円(留学先地域により異なる) ③ 業務スーパー・ジャパンドリーム財団奨学金 月額:20万円(北米、欧州)、15万円(アジア、大洋州) 留学一時金:15万円(アジア)、25万円(その他の地域) (注)①、②、③の併給はできません。奨学金制度は変更になることがあります。
留学先授業料	免除 (注)留学期間中は福岡女子大学に授業料を納めます。留学先での教材費、寮費などの実費は自己負担となります。

LMP120 (Looking for Myself Project 120) 短期海外研修

LMP120とは、本学学生を夏季及び春季休暇中の1～5週間、海外に派遣するプログラムの総称で、本学の海外交流協定校で、外国語・文化研修や体験学習を実施しています。LMP120は、現地での学習に加え、自主研究、派遣前の事前学習および帰国後の成果発表を組み合わせて実施し、海外での研修や生活中で自分の将来と国際社会との関わりを意識し、在学中に何を学ぶべきかに「気づく」ことができる内容となっています。参加者の多くは、次のステップとして、交換留学などのより長期の海外留学に挑戦しています。



申請可能な海外留学奨学金(2025年度) 海外短期研修・体験学習(1～5週間)

留学 経費支援	奨学金
	① JASSO(日本学生支援機構)海外留学支援制度奨学金 月額8万円、9万円、11万円(留学先地域により異なる) ② 福岡女子大学基金海外留学等奨励金 参加費用(自己負担額)の9% (上限5万円) (注)①と②の併給はできません。奨学金制度は変更になることがあります。

認定留学

認定留学制度を利用すれば、海外協定校に限らず、本学が認定した海外の大学に、1年を限度に留学することができます。認定留学期間中は休学扱いとなりませんので、留学期間を在学年数に算入することができます。認定留学先で取得した単位は、申請により本学の単位として認定される場合があります。留学期間中の学費は留学先大学と本学の両方に納めます。

海外経験と留学生の受け入れ状況

海外経験 2024年度の派遣状況

交換留学プログラム参加者数	47名
語学・文化研修プログラム参加者数	57名
海外体験学習・その他プログラム参加者数	38名
奨学金、事前研修などのサポート制度	あります。

留学生の受け入れ 2024年度の受け入れ状況

学部留学生	40名
大学院留学生	24名
WJC交換留学生	36名
学部交換留学生	13名



学内の国際プログラム



WJC (The World of Japanese Contemporary Culture Program)

WJCは、国際文理学部発足を記念して創設された、英語による外国人留学生短期留学プログラムです。海外の若者との間で関心の高い日本のポップ・カルチャーをはじめとする現代日本文化を学ぶプログラムとして開講し、海外協定校から交換留学生を受け入れています。



English Village

本学の学生と海外協定校からの留学生が参加し、「日本からEnglish Villageにやってきた」という設定で行う、留学疑似体験プログラムです。合宿形式の研修では、日本語の使用は厳禁で、英語のみで生活を送ります。留学生がリードしてゲームやグループワークを楽しんだり、英語による授業も行われます。



FWU International Summer Program

ASEAN-EU域内大学コンソーシアム福岡(CASEUF)のパートナー大学をはじめとする海外協定校と本学の学生が参加するサマープログラムを、毎年8月に実施しています。授業や活動はすべて英語で行われ、国際的な環境で学べる貴重な学内留学体験となっています。



JD-Mates(留学生サポート)

留学生や海外からの訪問者との交流に積極的に関わる学生をJD-Mates(Joshi-Dai-Mates)として登録、国際交流活動の担い手として、大学の事業に参加しています。留学生1人に1人のJD-Matesがサポートとしてつき、イベント参加への支援、入国・出国等の支援、銀行口座の開設や保険手続きの補助など幅広く活動しています。



アジア地域大学コンソーシアム福岡

(CAUFUK)

The Consortium of Asian Universities in Fukuoka

2011(平成23)年に、福岡女子大学の持続可能な国際化に向けて、アジアの有力協定校との間に「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を設立。同年7月に参加する交流協定校から実務者が参集し、コンソーシアムの概要について協議、11月には参加各校からの代表者を迎えての調印式を経て、コンソーシアムが正式に発足しました。発足の後、12年度、13年度は「アジアにおける環境問題」、「食の安全と危機における栄養管理」、「持続可能な未来に果たすアジアの女性の役割」等のテーマのもと共同研究を進め、14年11月に7ヵ国12大学から54名の研究者とスタッフが集い、福岡で研究成果発表を行いました。発表には、アジア6ヵ国から梨花女子大学等合わせて11校が参加し、アジアにおける福岡女子大学のプレゼンスの向上に貢献しました。

ASEAN-EU域内大学コンソーシアム福岡

(CASEUF)

The Consortium of ASEAN-EU-Fukuoka Universities

2016(平成28)年度に本学が主導して設立した本コンソーシアムは、CAUFUKの成果を基盤として、ASEAN及びEU域内の有力大学との研究者ネットワークを拡大することを目的とする本学の新たな戦略的世界展開プロジェクトです。研究者交流を軸として、メンバー大学間の学生交流を促進する共同教育プログラム、事務系職員の人脈醸成のための研修プログラム等を実施し、大学構成員全体の人材の相互交流により海外ネットワークを一層強化し、本学の国際化を推進します。

\ Pick Up /

#02 寮教育

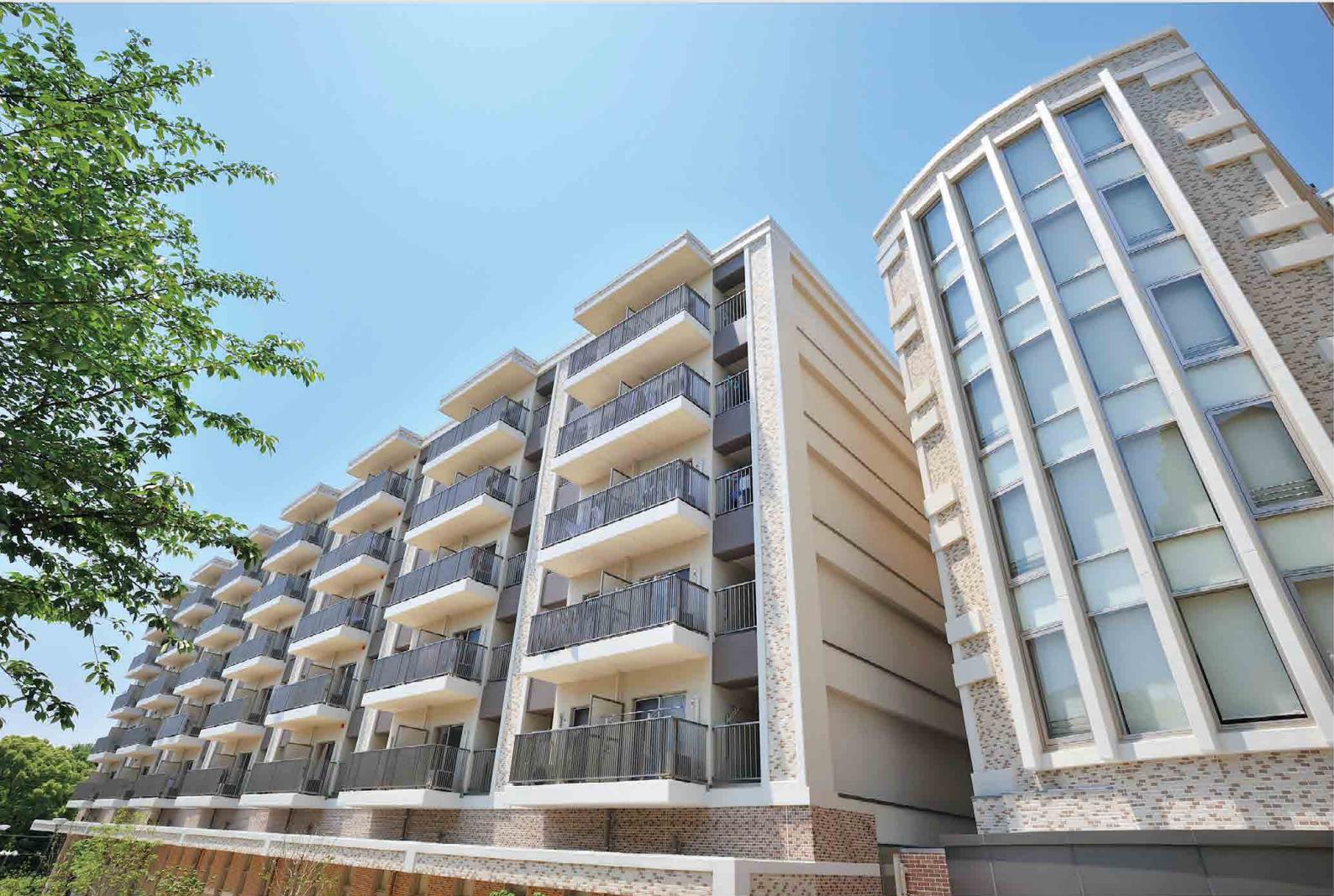
福女大の特色ある学び



国際学友寮なでしこ

(原則として、初年次1年間全寮制)

- 豊かな人間性や社会性を培うとともに、留学生との国際交流を深める学修の場
- 学生全員が主体的に寮の運営に参加する



初年次の1年間、福岡女子大学では「国際学友寮なでしこ」での全寮制教育を実施しています。同級生や海外からの留学生と生活をともにすることで、良好な人間関係を築く力や異文化に対する理解力、コミュニケーション能力を身につけます。寮での暮らしを通して多様な価値観や考え方方に触れ、エキサイティングな日々を過ごすことができます。寮でのさまざまな体験や交流を通して、意欲と能力の高い女性を育成していきます。

また、寮には、なでしこメイトという公募で選ばれた2年生以上の学生が一緒に住んでいます。イベントの企画運営をサポートしたり、寮生の相談事に対してアドバイスを行ったりします。寮生活で不安に思うことや悩みがある時は、気軽になでしこメイトに相談しましょう。



国際学友寮なでしこ 概要

収容人数	340人 ※4人で1ユニットを使用。4DK(個室4室+共用DK・バス・トイレ)×85ユニット(6階建て)
面積	[個室]約6帖 [1ユニットあたり]82.40m ²
費用	月額 15,000円 ※寄宿舎使用料 5,100円、水道光熱費・活動費及び維持・更新費 9,900円、インターネット回線使用料込み ※別途前払い清掃費用 実費(入居時のみ) ※別途寝具レンタル料(希望者のみ)
設備	[個室] エアコン、机(照明・書棚付)、椅子、クローゼット、ベッド(収納付)、インターネット回線、バルコニー(物干しざお、物干し金具あり) ※布団や枕などの寝具などは各自ご用意いただけますがレンタルもできます(有料) [ユニット共用※4人で共同使用します] キッチン(IHコンロ、流し台、冷蔵庫、IH炊飯器、オーブンレンジ、やかん、ダイニングテーブルなど)、浴室(シャワー付)、 エアコン、洗面台、トイレ、洗濯機、掃除機、傘立て、靴箱、内線電話など このほか、寮生が共同で利用できる大広間、ミーティングルーム、共用キッチン、シャワールーム、ランドリールームなどがあります。
食事	3食自炊 平日の11時30分から13時30分までは学生食堂を利用できます。 大学生協Jシップは平日の8時30分から17時まで営業しています(営業時間は変更になることがあります)。
管理・セキュリティ	カードキーによるオートロックシステム(メインエントランス)、カメラ・警備員などによる警備体制、管理者常駐。 [入退館可能時間] 5時～23時(門限22時) [外泊] 学期期間中の平日の外泊はできません。 その他のルールについては「公立大学法人福岡女子大学寮規則」及び 「公立大学法人福岡女子大学国際学友寮なでしこA棟、B棟、C棟及びコア棟に関する運営要綱」を遵守すること。

[共用設備]



[ユニット見取り図]



寮活動

充実した寮生活を送るために寮内での活動に積極的に参加しましょう。興味のある分野やテーマに沿ってチームを組み、自分たちの手で企画することができます。さまざまな視点を持つ大切さ、自主性、協調性などを学びましょう。

\ Pick Up /

#03 体験的学習

実体験から学びを生み出す



体験的学習は、「正課」と「準正課」に大別されます。

正課

「正課」は「正規課程」つまり授業のことで単位が付与されます。

体験学習科目として開講される多様なプログラムでは、担当教員のもと知識のインプットをしながら、体験を通じて「学び」を生み出していく。テーマや場所、期間、費用等はプログラムによって様々。興味がある分野はもちろん、機会がなければ触れないような分野に飛び込むことで、自分の「ひきだし」を増やすことができます。

準正課

「準正課」は、授業とは異なり単位は付与されませんが、教職員が関わりながら学生が主体的な取組を進める通じて学びを生み出す活動です。

例えば、もっとも身近な「社会」としての大学の運営、地域との交流。ここでもまた、飛び込むことで見えてくる自分や他者、そして社会があります。



2025年度開講 体験学習プログラム

正課での体験的学習

SDGs～ジェンダー平等への取組み@あすばる

社会に存在する「性別による偏り」について同世代に何をどのように伝えよう

社会には様々な形で性別による偏り(ジェンダー・バイアス)が存在し、一人ひとりの個性の発揮を妨げたり活躍の場を狭めたりする壁となっています。この壁の打破という社会課題に取り組む公益団体を受け入れ先として、若者へと関心を広げるための活動を学生自身が企画し実施することによって、社会への貢献を目指すとともに、実践的な企画力やリーダーシップを養い、ジェンダー平等という問題を具体的に捉える力を身につけます。



担当	深町朋子	期間	5月～12月	定員	10名
対象学年	1～4年	場所	福岡県男女共同参画センター「あすばる」		

企業等連携メニュー開発プロジェクト

企業や地域とのコラボで健康づくりに貢献できるメニューとは？

本学に依頼された新たなメニューを企業と一緒に開発することを通じて、食の面から社会貢献を学びます。企業と連携して地産地消やスマートミール、スマソル等をメニューに取り入れながら、メニュー開発の考え方や進め方を体験することができます。学生が考案したメニューは、実際に企業の食堂で提供され、食材宅配サービスで販売されました。減塩メニューにもかかわらず、栄養バランスがよくておいしいと好評を得ています。



担当	笠原優子・太田雅規・片桐義範・梅木陽子	期間	通年
対象学年	食・健康学科3年	場所	福岡県庁地下食堂 他

H.I.S.ウィーン支店 インターンシップ

私が旅行客ならどんなツアーに参加してみたいかな

世界各国から依頼が来るホテル、オプショナルツアー、ツアーの手配業務を軸にWEBへの商品投入やメンテナンス業務を行います。また、テーマを考え、オプショナルツアーの新規企画の提案及びコース造成を研修期間の課題として行います。ドイツ語が不安でも英語ができれば問題ありません。6～8週間の研修中の宿泊は学生寮を想定しています。航空機チケットと宿泊先は、担当教員のアドバイスのもと自分で予約をしてもらいます。



担当	池田宜弘・馬場優	期間	事前・事後学習+8月以降の約6週間(定員1名:選考有)
対象学年	1～4年	場所	オーストリア・ウィーン

【他にこんなプログラムも…】

- ◎地域共創論 ◎水俣病を教訓とした環境への取り組み ◎国営海の中道海浜公園をフィールドとした国際交流プロジェクト～福岡発世界をつなぐ公園づくり～ ◎子どもの居場所づくり「ぼてとはうす」 ◎1型糖尿病(小児)サマーキャンプのサポート活動 ◎BEPPU PROJECTインターンシップ ◎「狩猟」からみつめなおす暮らしと仕事 ◎グローバル社会における私たちの食・環境(Davisプログラム) ◎韓国シアター文化インターンシップ ◎糸島スチームシップインターンシップ ◎対馬市地域インターンシップ ◎学生提案型体験学習



「正課での体験的学習」についての詳細はこちら↑

2025年度 準正課活動

準正課での体験的学習

広報サポーター(オープンキャンパスなどの企画運営)
200名超が在籍し大学の魅力を発信

福岡女子大学の魅力を高校生に向けてPRするための組織。参加学生は4学年で200名を超えます。学生たちはリーダーを中心に主体的にオープンキャンパスの企画・運営に関わり、学生たちのアイデアが随所に取り入れられています。



カタカタ
自分や社会課題について語れる場づくり

「KATAOSA COFFEEで語ろう」を略したカタカタは、2020年度「地域共創論」授業から誕生しました。以来、有志の学生が、参加者どうしの語り合いを通して自身と社会のつながりを考える場づくりの工夫をしながら、映画鑑賞やゲストトークなど各回の企画・運営を行っています。ジェンダー、選挙、国際情勢…知るだけではなく、「自分はどうありたいのか」とつなげて考え、対話することを大切にしています。



ランゲージ・カフェ
ランチタイムに言語学習や文化理解を

ランチタイムに集い、お弁当を食べながら、各国の言語・文化を学ぼうという、学生の自主運営による活動で、2024年に発足10周年を迎えました。毎年、6~9つの言語チームが発足し、その運営を担うリーダーたちは、毎回のテーマを決めて、留学生や先生方の協力も得ながら、週に延べ60名近くの参加者たちを迎えます。通常カフェ活動に加え、学生発案のユニークなイベントの実現などを通じて、卒業後も続く、学年を問わない交流が芽生える拠点となっています。

【他にこんな活動も…】

- ◎学生委員(キャリア支援部会、言語教育センター、女性リーダーシップセンター、戦略企画センター、地域連携センター、図書館部門、なでしこメイト/寮教育部会、美術館部門)
- ◎学生自治会
- ◎学生地域共催イベント ◎香住丘校区での活動 ◎高校生のためのイングリッシュキャンプ ◎JD-Mates ◎しょくぼねつと ◎なでしこ寮 有志活動 ◎東部地域大学連携 学生活動



授業や準正課活動を通じて学生たちが言語化した「リーダーシップ」についてはこちら↑

\ Pick Up /

#04 少人数制

チャレンジしやすい環境



ファーストイヤー・ゼミ

大学における
基礎的な学修スキルを
身につける

入学直後から演習形式で行われる少人数制の授業。大学で主体的に学んでいくために求められる力はもちろん、変化し続ける現代を生き抜くための力—自ら真理を探求し、自分の意見を発信し、他者と対話する技術と精神—を身につけることを目標としています。自ら「問い合わせ」を発見し、その「問い合わせ」に対する自らの意見を構築し、その意見を他者との対話を通じてさらに高次のものにする、といった知的的作業に取り組みます。

アカデミック・
アドバイザーシステム4年間の学びを
マンツーマンで
きめ細やかにサポート

柔軟なカリキュラムのもと、学生が主体的・体系的に学べるように、入学時から卒業するまでの4年間、専任教員が学生一人ひとりを担当し、助言や指導を行います。その教員をアカデミック・アドバイザーと呼んでいます。アカデミック・アドバイザーは、それぞれの学生の将来の目標に応じたきめ細やかなサポートを行います。学生のニーズを把握し、カリキュラムのことや講義の受け方など、何でも気軽に相談できます。





学びの幅を広げ、さまざまな問題を解決する力を育成

新しい教育で次代の女性リーダー育成を目指す

本学の国際文理学部では、国際教養学科、環境科学科、食・健康学科の3つの学科を設置し、文理統合教育を実施しています。各学科では、主体的かつ幅広い学びを重視した実践的な教育を通じて、国際社会で活躍できる力を育成します。

国際教養学科

環境科学科

食・健康学科

環境自然科学履修コース

環境マネジメント履修コース

管理栄養士養成課程

教育目標

時代や社会の変化に柔軟に対応するため、人類の文化、社会と自然に関する文理統合した知識とグローバル社会とその課題に対する専門的知識を備え、確かな判断力、適応力、多元的思考力を養成すると共に、主体性、多様性への寛容、倫理観を涵養し、感性や独創性、創造性を発揮して多文化共生と持続可能社会の実現に寄与できる女性リーダーの育成を目指す。

アドミッション・ポリシー

国際文理学部では、その教育理念のもと、地域社会や国際社会への貢献という高い志と、何事にも挑戦する意欲、基本的な学力を有した優秀な学生を求める。学生の選抜にあたっては、右のような学生の受け入れを目指す。

求める学生像

- 社会の発展や課題解決に貢献しようとする志を持つ、向学心旺盛な学生
- 高等学校教育段階における基礎学力を有している学生
- 入学を希望する学科に関連する事象に深い関心を持ち、高等学校までに学んだ知識・経験を活用し、その解決に向けて探求し、その成果等を自らの言葉と視点で説明することができる学生
- 各学科のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えている学生

学部長挨拶

国際文理学部は、国際教養学科、環境科学科、食・健康学科の3つの学科で構成され、それぞれの専門領域を深めるとともに、文系・理系の枠を超えた幅広い学びを大切にしています。私たちは、国際社会に貢献できる人材の育成を目指し、学生一人ひとりが多様な視点を持ち、現代社会が直面する複雑な社会課題に向き合う力を養うことを支援しています。

本学部では、学生の探究心を育むため、クオーター制を導入し、一部の期間には必修科目を設けず、海外留学や体験学習などの学外活動にも挑戦しやすい環境を整えています。また、英語で学ぶ専門科目や副専攻プログラムを通じて、異なる分野を横断的に学び、社会課題の解決に貢献できる力を身につけることができます。

福岡女子大学は、1923年の創立以来、「次代の女性リーダーを育成」するという基本理念のもと、多くの卒業生を国内外に輩出してきました。本学の長い歴史の中で育まれた伝統を大切にしながら、時代の変化に対応し、新たな学びの可能性を切り拓いていきます。

学びとは、新しい世界への扉を開くことです。本学での経験が、皆さんの未来を広げる大きな一歩となることを願っています。

皆さんとともに、学び、成長し、未来に挑戦していくことを楽しみにしています。

国際文理学部長
ぱすましり じゃやせーな (Pathmasiri Jayasena)

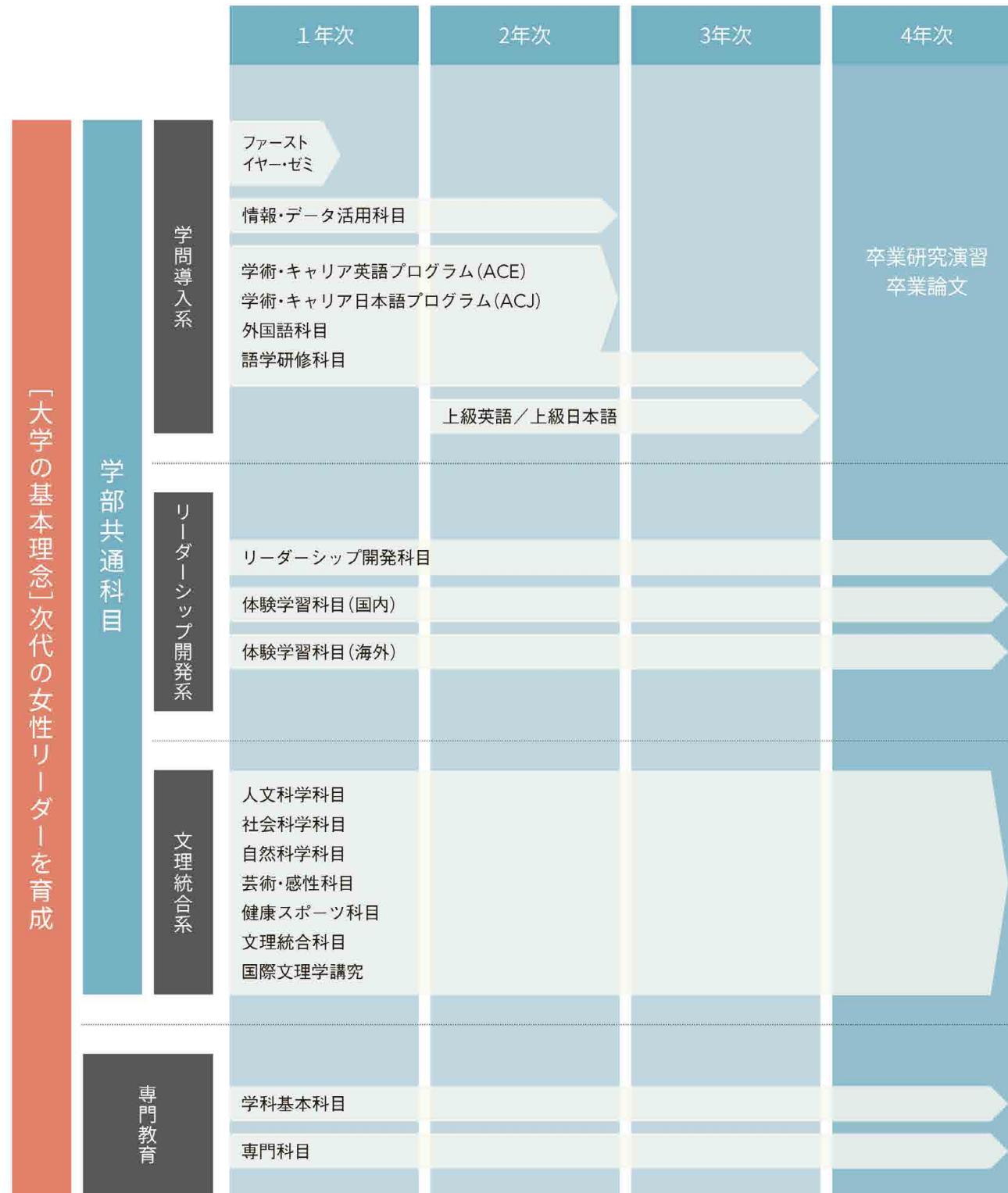


Japan University Rankings 2025
Powered by THE

「THE 日本大学ランキング2025」で総合48位、女子大学では2位、国際性9位にランクイン 「THE 日本大学ランキング」は、英国の教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE) とベネッセグループが大学の教学改革やグローバル化の推進を目的に公表するランキングです。ランキング指標となる「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野によって大学の「教育力」を測定し、今回は257大学がランキング対象となりました。

国際文理学部の共通科目

学生の主体的な学びを支え、本学の基本理念である「次代の女性リーダーを育成」を目指すカリキュラムです。



学問導入系

大学におけるスタディスキルを学ぶための科目として、「ファーストイイヤー・ゼミ」「情報・データ活用科目」「学術・キャリア言語プログラム(ACE/ACJ)、外国語科目、語学研修科目、上級英語/上級日本語」で構成しています。

ファーストイイヤー・ゼミ	ファーストイイヤー・ゼミ I・II	学術・キャリア日本語プログラム(ACJ)	日本語総合 I～IV 日本語ライティング I～III 日本語文法 日本語コミュニケーション I・II
情報・データ活用科目	情報リテラシー I・II データ解析入門 プログラミング入門 情報デザイン 情報科学特別講義	外国語科目	中国語 I～VI 韓国語 I～VI ドイツ語 I～VI フランス語 I～VI 英語 I～IV
学術・キャリア英語プログラム(ACE)	英語コミュニケーション I～III 英語リーディング・ライティング I～IV 英語プレゼンテーション 英語セルフラーニング I・II	語学研修科目	海外語学研修 I～III
学術・キャリア日本語プログラム(ACJ)		上級英語	上級英語 I～III
外国語科目		上級日本語	上級日本語 I～III

学術・キャリア英語プログラム

(ACE:Academic & Career English Program)

英語を「学びに必要なツール」と捉え、全学科について必修科目とします。授業数は10単位を設定し、1年次から2年次にかけ、1クラス15人程度という少人数での習熟度別クラスを編成。「聞く」「読む」「話す」「書く」の4つの技能を育成するとともに、思考力や表現力を養っていきます。題材は国際関係や環境問題、食糧問題などを取り上げます。国際社会の基礎知識や異文化について英語で学び理解を深めていきます。プログラム終了時には、英語による口頭発表、英語による小論文の作成ができるまでに成長することが目標です。



学術・キャリア日本語プログラム

(ACJ:Academic & Career Japanese Program) (主に留学生向け)

1年次から2年次にかけて日本語力の基盤を集中的に修得します。「日本語を学ぶ」ではなく、「日本語で学ぶ」ことを念頭に、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を磨くとともに、思考力・表現力を養っていきます。少人数制の習熟度別のクラス編成を採用しながらも個々に適したレベルアップを目指します。日本語を「大学での学びのツール」(学術日本語)として身につけるとともに、実社会の場では「実践的コミュニケーション手段」(キャリア日本語)として駆使する態度と力をつけることが目標です。



上級英語

ACEで身につけた語学力を、学科専門の学びに結び付けることを意図して設けられた学部共通科目(必修)です。英語を媒体として専門科目の内容を学び、論理的思考力を高める学科専門教育への導入科目です。





リーダーシップ開発系

「次代の女性リーダーを育成」を具現化するため、リーダーシップ開発系科目群として「リーダーシップ開発科目」と「体験学習科目」で構成しています。

リーダーシップ開発科目※1	福岡女子大学論 福岡女子大学史 ジェンダー ジェンダーと法 包摂社会と人権 リーダーシップ論 キャリア形成論 キャリアインターンシップ グローバルリーダー論 グローバルリーダー実習	体験学習科目(国内)※2 体験学習科目(海外)※3	地域共創論 体験学習Ⅰ～Ⅳ 海外体験学習Ⅰ～Ⅲ
---------------	---	------------------------------	-------------------------------

ジェンダーと法

「ジェンダー平等の実現」はSDGsの一つですが、日本社会にはいまだに多くの課題が存在することが指摘されています。それらについて法の視点から検討しながら、法や社会制度を「与えられたもの」「動かせないもの」と捉える受け身の姿勢を問い合わせとともに、一人ひとりが自分らしい人生を選び取っていくうえで必要不可欠となる基礎的な法知識を身につけます。

リーダーシップ論

「リーダー」や「リーダーシップ」についてこれまでみなさんが見聞きしたり漠然と持ってきたりしたイメージを、リーダーシップ研究を拠り所として学びほぐし(アンラーン、unlearn)、新しい見方やアプローチが取れるようになることを目的とした授業です。授業は、講義、履修生がひとりで行うワーク、履修生複数名で行うワークで構成されます。履修生どうしの学び合いが、「リーダーシップ」を実践する機会になっています。

※1「ジェンダー」はもちろん、「リーダーシップ論」「キャリア形成論」「グローバルリーダー実習」などの科目で、知識の修得と実践を交えて学ぶことで、知性と人間性の両方を備え、自信をつけて世界で歩んでいくようなシステムを構築しています。※2・※3 体験学習科目についてはP.14「正課での体験的学習」でもご紹介しています。



副専攻 プログラム

各学科の専門領域以外の学びで、学生の可能性を広げています。

意欲ある学生が主専攻以外の分野も体系的に学べる「副専攻プログラム」を設けています。「副専攻プログラム」は主専攻として学んでいる分野に追加して学ぶことで「+αの価値」を得ることができる機会です。「分野型副専攻」と「課題型副専攻」を合わせた14プログラムがあります。

14 プログラム

日本言語文化	住環境デザイン
欧米言語文化	国際環境政策
東アジア地域研究	食ビジネス
国際関係	日本語教員養成
国際経済・マネジメント	国際環境リーダー
環境物質	情報・数理・データサイエンス
環境生命	グローバルリーダー

グローバルリーダー副専攻プログラム(GLP)

グローバルそしてローカルな舞台で「ないものを描く」リーダーシップ・プロセスに必要となる能力や価値観を、圧倒的な実践機会を通じて涵養する課題型副専攻プログラムです。

2024年度は「国際開発協力」をキーワードに、企業・市民社会・国際機関それぞれの立場で活躍するゲスト講師を迎えた公開授業を3回にわたり企画。ゲストのキャリアパスと「グローバルリーダー」「グローバルリーダーシップ」観について伺い、「自分が『グローバルリーダー』としてどこで何ができるのか・したいのか」を検討しました。教職員・学生に加え高校生ほか一般参加者などのべ45名が参加。履修生2名は留学先のアイスランドとクロアチアからの参加、2名のゲストはアムステルダムとバンコクから登壇しました。



国際教養学科

教育目標

グローバル時代の社会や文化について学び、それらを相対的に捉える力と国際コミュニケーション能力を身につけ、国際共生の理念を踏まえ、国内外で文化交流、国際協力、ビジネス活動など幅広い分野で積極的に活躍できる人材を育成するための教育研究を行う。

アドミッション・ポリシー

国際教養学科は、日本、アジア、欧米の言語や歴史、文化をはじめ、政治や法律、経済や経営にわたる全般に真摯な関心を持ち、グローバル化された現代を生きる上で重要な多様な視点と、地域や国際社会に貢献しようとする強い意志をそなえた学生を求める。

求める学生像

- 国際社会におけるさまざまな課題の探求や解決に意欲的に取り組むことのできる学生
- 国際教養学科の専門分野を学習するために必要な基礎学力を有している学生
- 主体性、協調性があり、国際社会で女性リーダーとして貢献する意欲を持った学生
- 国際教養学科の専門分野に強い関心を持ち、基礎的な理解力、論理的思考力、表現力があり、かつ、学習意欲の高い学生

学びの特徴

1 国際性を磨ける環境で世界を広く、深く掘り下げる

人文科学と社会科学における様々な学問分野から、日本・アジア・欧米の言語・文化・社会、そして国際社会における政治・経済・法のあり方を、幅広く、なつかつ深く学べる学科です。加えて実社会での活動に必要となるプレゼンテーション能力などの充実も図っています。

また外国語を、自分自身の意見やアイデアを世界に発信するツールとみなし、外国語によるコミュニケーション能力の強化に重点を置いています。

さらに、学部共通科目によって自然科学の視点も取り入れることで、ビジネス・文化交流・国際協力など多様な分野で、幅広い視野をもって国内外を問わずに活躍できる人としての成長を目指します。

2 学生は自身の「得意分野」と出会い、クリエイティブな未来を拓く

今、日本の国内を含めた国際社会に存在する問題は、あらゆる分野において複雑化し、その数も莫大なものとなっています。

そのような時代のなかで、今後、問題をよりよい方向に動かしていく学生たちの世代には、まだ存在していない素晴らしい世界を想像し、新しい価値観を生み出す力とインテリジェンスが求められています。知識だけではなく、積極的に行動し、国際社会と自身の未来をデザインしていくことも大切です。

本学科で学ぶ学生は、自分の「得意分野」を知り、それを活用して国際社会に貢献可能な存在になることが目標です。「得意分野」の探求のため、自身のカリキュラムを主体的に組み立てます。



学びの仕組み

学生自身が自由に履修してオーダーメイドの学びを組み立てる

本学科の学生は1年次～2年次前期にかけて、主に学部共通科目と学科基本科目を履修します。そのなかで国際社会に通用する幅広い教養(語学やリーダーシップ開発科目を含む)、人文科学、社会科学の基本的な知識を修得し、自身の興味がある分野・好きな分野、将来的に得意となるであろう分野を探求します。

2年次からは、115の専門科目から学生自身が学びたい科目(得意な科目)を自由に選び、自身のカリキュラムを主体的に組み立てます。そこには修得単位数以外のルールはなく、「韓国を軸にアジアについて多分野で学ぶ」「語学が好きなので様々な国の言語を中心に学ぶ」といったように、自分だけのカリキュラムが作成可能です。学生は自分オリジナルの学びのなかで、伸びやかに知と向き合えます。

学生の履修はアカデミック・アドバイザーやカリキュラム・アドバイザーがサポート。各科目には右図のように「ディシプリン(専門的な学問領域)」と「エリア」の掛け合わせが表示され、学生が自身の「興味」や「得意」を基準に選びやすくなっています。

[ディシプリン(専門的な学問領域)]



ディシプリンとエリアを掛け合わせて、自由に主体的に卒業研究までの学びを組み立てます。学生は主体性をもって選んだ得意な分野の能力を伸ばすことで、国際社会に貢献できる人に成長します。

学科基本科目

	ディシプリン	エリア
倫理学	● ●	
日本文学	●	日本
欧米文学	● ●	欧米
日本語学	●	日本
英語学	●	欧米
歴史学	●	
法学	●	
政治学	●	
経済学	●	
経営学	●	
社会学	●	

専門科目

	ディシプリン	エリア
哲学概論	●	
日本文化論	●	日本
中国文化概論	●	アジア
韓国文化論	●	アジア
アジアの現代文化	●	アジア
ヨーロッパ文化概論	● ●	欧米
欧米文化理論	● ●	欧米
ドイツ言語文化文献講読	● ●	欧米
フランス言語文化文献講読	● ●	欧米
日本古典文化と文学	● ●	日本
日本近代文化と文学	● ●	日本
日本文学史	●	日本
中国古典文学	●	日本
近代日本文学講義	●	日本
現代日本文学講義	●	日本
古典文学実践研究	●	日本
日本言語文化文献講読	● ●	日本
漢文学講義	●	日本
日本古典文学講義 I・II	●	日本
英文学史	● ●	欧米
アメリカ文学史	● ●	欧米
英語圏の文化と文学 I～IV	● ●	欧米
英語文化文献講読	● ●	欧米
国語表現(音声・文法・表記)	●	日本
日本語文法論	●	日本
日本語教育概論	●	日本
日本語教授法 I・II	●	日本
日本語音韻論	●	日本
日本語表記論	●	日本
日本語教育実習	●	日本
中国言語文化文献講読	● ●	アジア
韓国言語文化文献講読	● ●	アジア
韓国言語文化論演習	●	アジア
英語文化概論	● ●	欧米

	ディシプリン	エリア
英語音声学	●	欧米
英語の歴史	●	欧米
英語文法論	●	欧米
英語コミュニケーション	●	欧米
英語学文献講読	● ●	欧米
英語文章表現演習	●	欧米
日本史概論	●	日本
日本外交文化史 I・II	● ●	日本
日本文化史講義	● ●	日本
日本政治論	● ●	日本
東南アジアの歴史と社会	● ●	アジア
東アジアの歴史	●	アジア
中国近現代史	●	アジア
朝鮮近現代史	●	アジア
欧米史概論	●	欧米
ヨーロッパ政治史	● ●	欧米
国際政治史	● ●	グローバル
比較政治学	● ●	グローバル
東南アジア政治論	●	アジア
東アジア地域関係論	●	アジア
国際関係論 I・II	●	グローバル
国際機構論	●	グローバル
国際法 I・II	●	グローバル
国際開発論	●	グローバル
国際協力・NGO論	●	グローバル
グローバル・フィールド学	●	グローバル
平和と安全保障	●	グローバル
国際関係特別講義 I・II	●	グローバル
社会科学外書講読 I・II	● ●	グローバル
社会科学外書講読 III	● ●	
社会科学外書講読 IV	● ●	
ミクロ経済学 I・II	●	
マクロ経済学 I・II	●	
財政学	●	
金融論	●	
経済政策	●	
日本経済	●	日本
中国経済論	●	アジア
東アジア経済論	●	アジア
国際経済学	●	グローバル
開発経済学	●	グローバル
マーケティング論	●	
会計学	●	
経営戦略	●	
経営管理論	●	
国際経営学	●	グローバル
財務分析	●	
組織行動論	●	
人的資源管理	●	
イノベーション・マネジメント	●	

ディシプリン	エリア
アジア産業論	● アジア
日本・アジアの企業経営	● アジア
社会心理学	●
メディア文化論	●
アジアとジェンダー	● アジア
中国社会論	● アジア
韓国社会論	● アジア
東アジアの法と社会	● ● アジア
東南アジアの経済と社会	● ○ アジア
南アジアの政治と社会	● ● アジア
東アジア社会研究講読	● アジア
東南アジア地域経済論	● ○ アジア
アメリカの政治と社会	● ● 欧米
現代ヨーロッパの政治と社会	● ● 欧米
アメリカ地域関係論	● ● 欧米
国際社会学	● ● グローバル
中東・アフリカの政治と社会	● ● グローバル
国際社会とジェンダー	● ● グローバル
イスラム社会論	● ● グローバル
国際教養演習 I～VII	



予想される進路

- 大学や国、自治体などの国際交流部門
- ジャーナリズム、マスコミ業界
- 一般企業の人材開発、企画部門
- 関連する分野の大学院
- 中学校、高等学校の国語、英語教員
- 国際的な活動を展開している企業
- 観光、旅行、流通、金融業
- 外国人のための日本語教師など

取得できる資格

- 中学校教諭一種免許状(国語・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(国語・英語)
- 学校図書館司書教諭資格
- 社会福祉主事(任用)

卒業研究

- 卒業研究演習
卒業論文

2024年度 就職実績

99.1%

(100%) ※()内は私費留学生実績 ※2025年4月1日現在

2024年度卒業生 就職状況

【建設】

大林組/九電工/大和ハウス工業

【製造】

アステックペイント/シャトレーゼ/如水庵/パッファロー/ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス

【電気・ガス・熱供給・水道】

九州電力/西部ガス

【情報通信】

エクシオ・デジタルソリューションズ/NTTデータ九州/神田通信機/クレスコ/クロス・ヘッド/佐賀電算センター/JR九州システムソリューションズ/高

橋書店/司システム/トーテックアメニティ/西日本新聞プロダクト/日本タタ・コンサルタンシー・サービス/日本放送協会(NHK)/フコク情報システム/ワンスター

【運輸業・郵便】

ANAウイングス/ANA福岡空港/九州旅客鉄道/近鉄コスモス/山丸/JALスカイ九州/全日本空輸/西日本鉄道/西日本鉄道国際物流事業本部/日本トランスオーシャン航空/羽田空港サービス

【卸売業・小売】

AINホールディングス/いーふらん/因幡電機産業/岩田屋三越/ジャバネットホールディングス/住友商事九州/ニトリ/俄/ベガコーポレーション/山下医科器械/リレイヴィトンジャパン

【金融業・保険】

あいおいニッセイ同和損保/オリックス・レンテック/九州リースサービス/ジェイリース/損害保険ジャパン/東京海上日動火災保険/内藤証券/日本政策投資銀行/福岡銀行/福岡県信用保証協会/三井住友信託銀行/楽天カード/楽天銀行/楽天証券

【不動産・物品販賣】

コスモスイニシア/ジョンズラングラー/デバインコーポレーション

【宿泊・飲食サービス】

ルートインジャパン

西南学院/日本大学/長崎女子商業学園(長崎女子商業高等学校)/博多学園(志明館)/福岡大学/福原学園

【サービス、その他】

イーオン/ウィルオブ・ワーク/クロス・マーケティンググループ/国際交流サービス/西海協/識学/スタッフサービス/総合資格/天理教教会本部/東京海上日動コミュニケーションズ/FoundingBase/福岡国際空港/ブリッジインターナショナル/プロジェクトデザイン/ベルシステム24/RITAグループ/ホールディングス/リンクアカデミー

【生活関連サービス、娯楽業】

エイチ・アイ・エス/JTB/ディアーズ・ブレイン/西鉄旅行/フレアインターナショナル&ツアーズ/ワック

【公務】

九州地方整備局/久留米市/総務省(一般職)/福岡県(I類・行政・教育行政)/福岡市(上級行政・中級行政)/福岡地方裁判所



環境科学科

教育目標

人間社会の「持続可能性」を実現するため、自然科学と社会科学の文理にわたる学問的知識を統合して考える能力を修得させ、国際化する多様な現代社会の中で環境や社会システムの問題を解決に導くことができる人材を育成するための教育研究を行う。

アドミッション・ポリシー

環境科学科は、環境と調和する世界の実現に关心を持ち、社会システムや、地域や国のある方、或いは市民生活と環境との関係について科学的に学ぶ意欲を持った学生を求める。

求める学生像

- 環境に関するさまざまな課題の探求や解決に意欲的に取り組むことのできる学生
- 環境科学科の専門分野を学習するために必要な基礎学力を有している学生
- 主体性、協調性があり、国際社会で女性リーダーとして貢献する意欲を持った学生
- 環境科学科の専門分野に強い関心を持ち、基礎的な理解力、論理的思考力、表現力があり、かつ、学習意欲の高い学生

学びの特徴

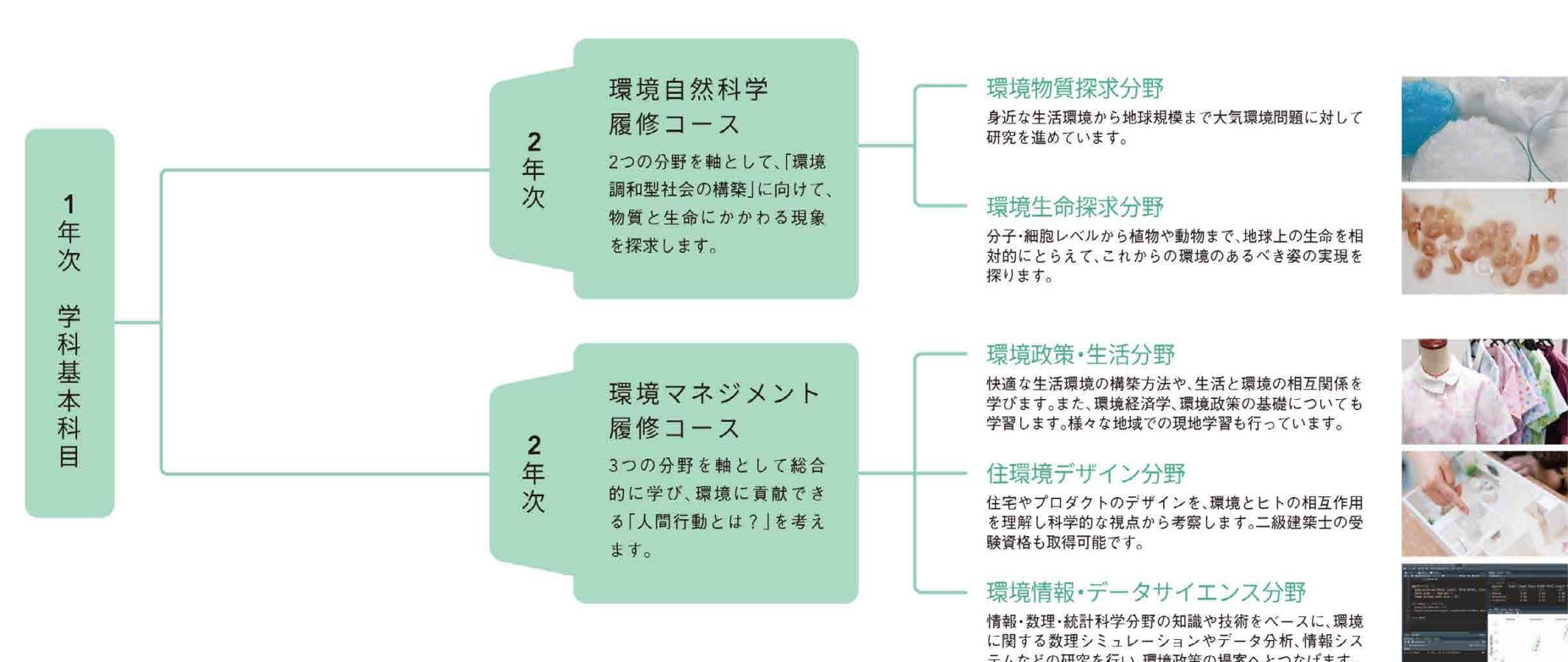
地球環境の多様な問題解決のため、環境科学を「文理統合」で学ぶ

今、地球は多種多様な環境問題と直面しています。それらを科学的な観点から理解し、「環境と調和した持続可能な社会づくりに貢献できる人材」に成長すること。それが本学科の学生の目標です。地球上の環境問題を解決するには、環境科学に関する幅広い知識に加え、諸外国の人々と共に活動するための語学力やリーダーシップも必要です。よって本学科では専門的な知識の修得はもちろん、学部共通科目による文理統合の学び、世界の人々と手を携えて環境問題に対峙できる語学力や応用力、思考力の向上も重視しています。

学びの仕組み

1年間、科学と教養を総合的に学んだ後、履修コースと分野を選択

1年次に学科基本科目で自然科学の基礎を学びます。それと同時に学部共通科目で幅広い教養的カリキュラムを修得。学生は時間をかけて自身の興味や関心の方向性を探ることができます。方向性が定まった後、2年次から2つの履修コースから自身に適したいずれかを選択。履修コース内の各分野から、主体的に興味あるカリキュラムを修得し、総合的かつ専門的な知識とスキルを育みます。



学科基本科目

基礎数学
基礎物理学
基礎化学
基礎生命科学
統計学Ⅰ(基礎)・Ⅱ(応用)
環境科学概論
環境法総論



専門科目

基礎分析化学
有機化学
生命の分子的基盤
細胞の生物学
無機化学
基礎物理化学
分子生物学
生態学Ⅰ
基礎物理学実験
基礎化学実験
生命科学基礎実験
地球環境科学
地球環境科学実験
身の回りの科学実験
環境有機化学
環境分析化学
環境機器分析学
大気環境科学
高分子化学
応用物理化学
環境物理学基礎
環境物理学
環境分析化学実験
有機高分子化学実験
環境物質基礎実験
水質管理の基礎
環境計量の基礎
機器分析基礎実験
環境物質論および実習Ⅰ・Ⅱ
遺伝学
発生生物学
動物生理学
環境生理学
分子進化学
生態学Ⅱ
保全生物学
発生生物学実験
動物生理学実験
生態学実験
環境生理学実験
生命科学演習Ⅰ～Ⅳ
環境生命論および実習Ⅰ・Ⅱ

環境政策総論
国際環境法
国際環境政策論
環境経済学
国際環境経済論
環境会計論
エコロジー経済学
環境経済学演習
環境政策学演習
都市空間デザイン
環境生活学
衣環境デザイン論
都市環境生活論
環境デザイン実習
エコライフスタイル学
内空間環境工学
環境人間工学
環境衛生学
環境生活基礎実験
エコ・ライフ実験
環境影響評価演習
建築法規
住居設計Ⅰ・Ⅱ
CAD演習
環境計画実習
建築施工
住居設計学
建築一般構造
建築史
構造力学
建築設備学
建築材料学
データサイエンス
環境数理学
データサイエンス演習
数理シミュレーション演習
地理情報科学
コンピュータサイエンス
プログラミング
線形代数および多変量解析
データベース概論および実習
プログラミング演習
調査・実験データ解析

環境マネジメント履修コース
住環境デザイン分野
データサイエンス分野
分総合

予想される進路

- 企業の環境管理部門
- 中学校・高等学校の理科教員
- 企業の環境技術・研究部門
- 関連する分野の大学院
- 環境ビジネス、
エコビジネス関連企業 など

取得できる資格

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 学校図書館司書教諭資格
- 二級建築士試験受験資格
- 木造建築士試験受験資格
- 社会福祉主事(任用)

卒業研究

- 卒業研究演習
卒業論文

2024年度 就職実績

環境科学科
98.3%

(100%) ※()内は私費留学生実績 ※2025年4月1日現在

2024年度卒業生 就職・進学状況

【建設】

アジア航測/アネシス/九電工/住友林業ホームテック/成友興業/大和ハウスリフォーム/パナソニックホームズ/URコミュニティ

【製造】

グラフィック/東芝

【電気・ガス・熱供給・水道】

西部ガス/日本テクノ

【情報通信】

イノス/イー・アンド・エム/うるる/SCSK九州/エスユース/FFGコンピューターサービス/NECソリューションズ/ノバータ/NTTデータ九州/エム・オー・エム・テクノロジー/Osol/クレスコ/システムインテグレータ/シティアスコム/DXCテクノロジー・ジャパン/BCC/富士フイルムメディカルITソリューションズ/日本コンピュータコンサルタント/三菱電機デジタルノバ/ソニーフィルムシステムズ

【運輸業】

九州旅客鉄道

【卸売業、小売】

トライアルカンパニー

【金融業、保険】

東京海上日動火災保険/西日本シティ銀行/楽天カード

【教育】

福岡教育大学

【サービス、その他】

FCE Holdings/北九州農業協同組合/コミックス・ウェーブ・フィルム/DNPコミュニケーションズ/デザイン/ディップ/ワークポート

【公務】

柏屋町/東京特別区(一般事務)/福岡県(I類・行政、化学)/福岡労働局

【進学(大学院)】

北海道大学、九州大学、福岡女子大学、総合研究大学院大学

就職支援に関する
詳細はP.43・44で
紹介しています



食・健康学科

教育目標

「人間の健康の維持・増進に関する専門知識・技能」「食の安全・安心や食文化」を併せて多元的なものの見方や考え方、総合的な判断力や創造力を身につけ、食のグローバル化が進む社会で「食と健康」という人の生存に関する最も本質的な課題の解決に貢献できる人材を育成するための教育研究を行う。

アドミッション・ポリシー

食・健康学科は、現代の市民生活における健康を、栄養の視点や、食の供給や安全についての国際的視点から捉え、科学的に学ぶ意欲を持った学生を求める。

求める学生像

- 食と健康に関するさまざまな課題の探求や解決に意欲的に取り組むことのできる学生
- 食・健康学科の専門分野を学習するために必要な基礎学力を有している学生
- 主体性、協調性があり、国際社会で女性リーダーとして貢献する意欲を持った学生
- 食・健康学科の専門分野に強い関心を持ち、基礎的な理解力、論理的思考力、表現力があり、かつ、学習意欲の高い学生

学びの特徴

食と健康の課題を栄養の視点や国際的視点から捉え、科学的に学ぶ

食生活の改善や栄養問題の解決は世界共通の課題であり、国内には不適切な食生活から生じる生活習慣病、食の安全性や食物供給の海外依存などの問題があり、また海外では発展途上国における食糧難をはじめとする問題が山積しています。今、社会から求められているのはこのような問題に対して専門的知識や技能を統合し、判断する力を有するだけでなく、国際的観点も適用し、解決できる人材です。

本学科では、少人数制教育で、管理栄養士国家試験の合格を目指すとともに、国内外で食と健康の課題解決に貢献する「食の専門家」を育成します。



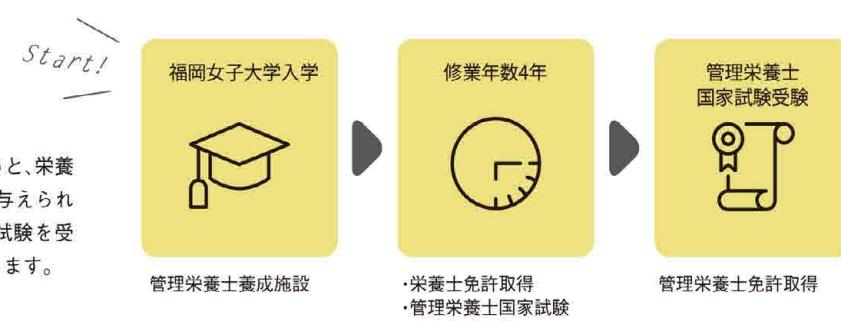
管理栄養士の 国家資格取得について

規定の単位を修得し、本学科を卒業すると、栄養士免許と管理栄養士国家試験受験資格が与えられます。卒業年の年度末頃に行われる国家試験を受験し、管理栄養士の国家資格取得を目指します。

管理栄養士国家試験合格率

年度(回)	2020(35)	2021(36)	2022(37)	2023(38)	2024(39)
本学合格率	100%	100%	100%	100%	96.3%
全国(新卒)合格率	91.3%	92.9%	87.2%	80.4%	80.1%

※留学生を除いた日本人学生のみの数値。留学生を含む全学生では、2020年度は30名中29名、2021年度は37名中36名が合格。



学科基本科目

調理学
調理学基礎実習
生化学 I・II
基礎実験
基礎化学
基礎生命科学
基礎数学
統計学 I(基礎)・II(応用)
比較食文化論

Check!

実践教育について

小学校、事業所、保健所、病院において行う臨地・校外実習では、実践活動の場での課題発見・解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図ります。



専門科目

グローバル社会の 食と健康	保健医療福祉論
	実践疫学
	公衆衛生学
	公衆衛生学実習
	公衆栄養学 I・II
	公衆栄養学実習
	公衆栄養学臨地実習
	地域ブランド論
	食物危機管理論
	生化学実験
人間の体と 心の健康	基礎栄養学実験
	人間構造機能学 I・II
	人間構造機能学実験 I・II
	病理学
	栄養生理学
	栄養生理学実験
	基礎栄養学
	栄養教育論 I～III
	栄養教育論実習
	応用栄養学 I～III
保健・医療・福祉・介護に おける食と健康	応用栄養学実習
	スポーツ栄養学
	臨床栄養学 I～IV
	臨床栄養学実習 I・II
	臨地実習事前・事後指導
	臨床栄養臨地実習
	卒業研究演習
	卒業論文
	卒業研究

機能 食の安全・安心と	微生物学
	微生物学実験
	食品安全学
	食品安全学実験
	食品機能学
	食品機能学実験
	食品加工・貯蔵学
	食品分析化学
	食品分析化学実験
	給食経営管理論 I・II
科 演 習	給食経営管理実習 I・II
	給食の運営(校外実習)
	調理学応用実習
	調理科学
	調理科学実験
	実践食事計画
	フードビジネス論
	食・健康科学基礎演習
	食・健康科学総合演習

予想される進路

- ・ 食品・健康関連企業の研究開発・生産管理・評価部門など
- ・ 食品・健康に関する行政・試験研究機関
- ・ 医療機関・福祉施設などにおける栄養管理部門
- ・ 栄養教諭
- ・ 関連する分野の大学院 など

取得できる資格

- ・ 管理栄養士国家試験受験資格
- ・ 栄養士免許
- ・ 栄養教諭一種免許状
- ・ 食品衛生管理者(任用)
- ・ 食品衛生監視員(任用)
- ・ 社会福祉主事(任用)

2024年度 就職実績

100%
食・健康学科

(100%) ※()内は私費留学生実績 ※2025年4月1日現在

2024年度卒業生 就職・進学状況

【情報通信】
FFGコンピューターサービス

【卸売業、小売】
新生堂薬局/第一実業/ヤマエグループホールディングス/ユーシーシーコーヒーブロフェッショナル

【金融業、保険】
楽天カード

【医療、福祉】
EPLink/飯塚病院/新小倉病院/東京都立病院機構/横浜市立大学(横浜市立大学附属病院・附属市民総合医療センター)

【教育】
名古屋市公立学校教員(栄養教諭)/福岡県立学校教員(栄養教諭)/福岡県立学校教員(実習助手)

【サービス、その他】
エームサービス/コンバスクループ・ジャパン/クリーク・アンド・リバー社/ジー・エイチ・エフ・マネジメント/日清清療食品

【公務】
大分県庁(行政栄養士)/沖縄県(衛生監視員)/福岡市(衛生監視員)/東京都(行政栄養士)

【進学(大学院)】
福岡女子大学

就職支援に関する
詳細はP.43・44で
紹介しています



国際文理学部

国際教養学科

教授 大久保 順子

日本文学、主に古典。物語と和歌、浮世草子と俳諧、説話と小説、文芸と教育の関係などを研究。

教授 木村 貴

韓国政治、国際人権法。

教授 坂本 浩一

日本語学。主に幕末明治初期言語を研究。

教授 佐藤 秀樹

経済政策、環境政策。

教授 ぱすましり じゃやせーな

国際関係論・平和研究、環インド洋地域を中心とした国際政治・安全保障について研究。

教授 鈴木 有美

社会心理学、教育心理学、個人と組織における適応の研究。

教授 徐 阿貴

国際社会学。特に移民問題の研究。

教授 長岡 真吾

アメリカ文学、米国を中心とした文学・文化批評。

教授 野依 智子

女性労働史、ジェンダー、社会教育学。

教授 橋本 直幸

日本語教育学、日本語学。コンピューターを使った日本語研究。

教授 馬場 優

国際政治(ハブスブルク外交史)、比較政治学(オーストリア)。

教授 深町 朋子

国際法学。国家領域および国境画定に関する法を研究。

教授 吹原 豊

日本語研究学(ACJ)。移住労働者の日本語習得研究。

教授 Sven HOLST

比較文化社会学(特にドイツと日本の観光と祭り)、日本近世文化社会史。

教授 宮川 美佐子

英文学(近・現代小説)。

教授 宮崎 聖子

文化人類学、ジェンダー、日本や台湾社会について研究。

教授 村長 祥子

英語学(文法、英語史)。古・中期英語統語論研究。

環境科学科

教授 渡邊 俊

日本史学。主に中世社会の法秩序・法觀念を研究。

准教授 石神 圭子

アメリカ政治。現代アメリカにおける地域コミュニティを中心とした政治参加研究。

准教授 岩下 真澄

日本語教育学(ACJ)。

准教授 河原 梓水

日本文化研究。主に近現代の性文化雑誌を研究。

准教授 金 希京

韓国言語文化論、多文化教育論。

准教授 小西 鉄

東南アジア経済。主にインドネシアでの企業や経済改革に関する研究。

准教授 近藤 洋平

中東・アフリカ地域研究。主にイスラムの思想と社会を研究。

准教授 坂口 周

日本文学。近現代の文化と映像文化の多角的な研究。

准教授 柴田 聰

イノベーションマネージメント。

准教授 白新田 佳代子

世界の産業構造の変化とエネルギー・環境問題の研究。

准教授 朴 紅蓮

社会学・ジェンダー学、中国地域研究、比較研究。

准教授 増山 みどり

第二言語および外国語教育。

准教授 山根 健至

比較政治学、国際関係論。東南アジアの現代政治と国際関係について研究。

講師 梶田 知沙

環境経済学。特に、数理モデルを用いた国際環境協定の制度設計。

講師 塚野 慧星

教育学、教育哲学。

講師 Robert PRESLAR

英米文学、英米文化、英米の映画。

環境科学科

教授 池田 宜弘

物理化学。自然・生活・生命・生命環境のなかで様々な界面現象について探る。

教授 猪股 伸香

遺伝学、集団遺伝学、分子進化学。生物進化を遺伝学の視点で考える。

教授 小崎 智照

環境衛生・計画学。健康で快適な住環境デザイン。

教授 庄山 茂子

環境デザイン。快適な生活環境を実現するための色彩計画。

教授 潤下 清貴

環境生物学。真核生物(主に原生生物)の多様性・生態・進化の解明。

教授 豊貞 佳奈子

エコライフスタイル学、生活行為由来の環境負荷量の定量化。

教授 藤野 友和

計算機統計学、地理情報科学。データ解析手法や可視化に関する研究。

教授 馬 昌珍

大気環境学、地域・地球規模の大気環境問題。

教授 松尾 亮太

分子神経生物学。脳が持つ優れた能力を探る。

教授 吉村 利夫

高分子材料学。環境調和型高分子材料をつくる。

准教授 岩崎 慎平

環境生活学。環境リスクに対処するための生活活動を研究。

准教授 黒木 昌一

物理学。現象を数理モデルでつかむ。

准教授 藤岡 薫

環境数理学。自然環境や社会現象に関する数理モデルの研究。

准教授 松永 千晶

土木計画学。特に交通計画学および都市計画学。

准教授 弓削 昌弘

発生生物学。生物のかたちづくりの謎を、細胞・遺伝子の観点から探る。

准教授 和栗 百恵

大学教育における体験的な学習とリーダーシップ開発、キャリア教育。

言語教育センター

教授 Nigel STOTT

英語教育、教授法、動物学。

講師 Andrew GALLACHER

英語教育、コンピュータ支援言語学習、カリキュラムデザイン。

講師 田上 優子

英語教育(動機づけ、学習ストラテジー、自律学習)。

講師 都地 沙央里

書物文化史、中世英語。

講師 Amy TOMS

英語教育、臨床心理、言語学習に影響する心理的要因の研究。

講師 Andrew THOMPSON

日本の高等教育政策。

講師 Eric MILLER

若年層及び学習意欲の低い読者向けの英語教材開発、SDGs及びアメリカ史。

講師 Sorrell YUE

第二外国語習得、コミュニケーションスキル、日本の外來語。

国際化推進センター

准教授 高原 芳枝

経営学(高等教育マネジメント)、日本伝統文化と美学(茶道、書道)。

女性リーダーシップセンター

教授 品川 啓介

自然科学研究の進歩過程や研究が活性化した背景(組織運営・リーダーシップ)の研究。

講師 下川 照代

キャリア形成論、女性の活躍に必要な支援や施策を提言するための応用研究。

国際フードスタディセンター

教授 脇坂 港

バイオマス(生物資源)の利活用に関する研究。

※2025年度現在

大学院

専門的知識と実践的な能力を備えた次代の女性リーダーを育成

より高度な専門的知識と実践的能力を持った女性リーダーを社会に送り出すための専門教育機関として、2015年4月、大学院に「人文社会科学研究科」「人間環境科学研究科」を設置しました。2017年4月には、国内外で指導的役割を果たすとともに国際的な活躍ができる専門家を養成するため、各研究科に博士前期課程の専攻を基盤とした博士後期課程を開設しました。本学の基本理念である「次代の女性リーダーを育成」の実現のため、長期履修制度や留学生支援制度などを導入し、意欲ある社会人や留学生が学びやすい環境を整備しています。



人文社会科学研究科の目的

豊かな人間性と研究倫理を基盤に、人間・社会・文化・文学・政治・経済に関わる諸問題を総合的に検討し、地域社会から国際社会まで様々なレベルで直面する課題の解決に貢献できる、高度な専門的学識を備えた応用力豊かな人材を育成する。

言語文化専攻では、国際的な視野を背景に、日本と英語圏における文学と文化及び言語の特質に関する深い知識と高度な専門性を身につけ、価値観の多様化に対応して各界で活躍できる人材と言語(日本語・英語)教育の分野において貢献できる人材を育成する。

社会科学専攻では、地域社会と国際社会における政治・経済の諸活動とその背後にある価値の本質を理論的に考察するとともに、課題対応の実践的能力を身につけ、産業界から国際協力に至る分野において貢献できる人材を育成する。

取得できる資格

博士前期課程言語文化専攻を修了し、所定の科目の単位を修得した者は、次の教育職員免許状を取得することができる。

博士前期課程 言語文化専攻
・中学校教諭専修免許状(国語・英語)
・高等学校教諭専修免許状(国語・英語)

人間環境科学研究科の目的

「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」に関する専門知識と技術を理解し、独創性と先端性に優れた研究を可能とする能力を身につけた人材を育成する。

個別化された専門的研究のみならず他領域の専門研究との統合化ができ、現代社会の著しい変化・進展に対応できる総合的な判断力を備え、かつ、地域社会から国際社会までの様々なレベルで直面している課題の解決に貢献できる、高度な専門能力と幅広い視野を持つ人材を育成する。

取得できる資格

博士前期課程人間環境科学専攻環境自然科学領域または栄養健康科学領域を修了し、所定の科目の単位を修得した者は、次の教育職員免許状及び資格を取得することができる。

環境自然科学領域
・中学校教諭専修免許状(理科)
・高等学校教諭専修免許状(理科)

栄養健康科学領域
・栄養教諭専修免許状
・臨床栄養師認定試験受験資格
(日本健康・栄養システム学会認定資格)



地域交流



研究支援

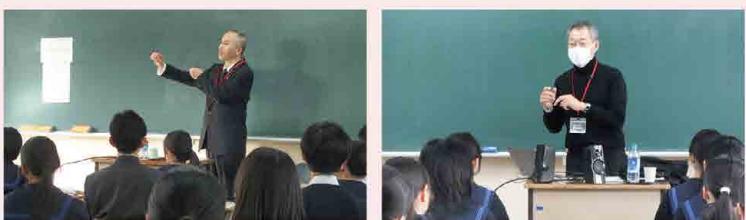
○ 公開講座・生涯学習カレッジ

地域の方々に生涯学習の場を提供するため、公開講座・生涯学習カレッジを開催しています。公開講座では身近な話題をテーマに、生涯学習カレッジでは“感性”と“体験”を学習の柱として学びの中に「あそびごころ」を取り入れ、それぞれ多彩なプログラムを実施しています。



○ 出前講義

高校生に高等教育に触れる機会を提供し、将来の進路選択に役立てもらうことを目的に、本学教員が近隣の高校を中心に向き、講義を実施しています。



○ 東部地域大学連携での活動

福岡市東区に位置する福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学は、2011年11月に連携協定を締結し、相互の教育・研究の一層の促進と地域社会の発展に寄与することを目的に活動を行っています。



校区との交流

○ 香住丘校区との交流

本学が所在する福岡市東区香住丘校区の様々な事業に学生、教職員が協力するなどして交流を深めています。



○ 近隣校区との交流 (香椎浜校区・千早西校区・香陵校区)

本学には、教職員とともに大学運営に関与し、活動を通してリーダーシップを養う「学生委員」という制度があり、この活動を通じて香椎浜公民館や千早西公民館と交流を行っています。また、香陵公民館では、食・健康学科の教員による栄養講座を開催しています。



○ 研究奨励交付金・リサーチコア

本学では、学術研究費を効果的に活用して本学の特徴を生かした研究を支援することを目的に「研究奨励交付金」と呼ばれる学内の競争的研究資金制度を設けています。この制度を通して本学が重視する「リサーチコア」と呼ばれる複数の教員からなるプロジェクトや、その他の様々な特色ある研究を支援しており、2024年度に採択された研究の成果を6月から8月にかけて展示しました。



○ 新任・昇任教員による講演会

新たに着任した教員及び教授、准教授へ昇任教員による講演会を開催しています。2024年度は国際教養学科の2名と環境科学科の2名の教員による講演を行い、学内外の多くの方にご参加いただきました。



○ 福岡県工業技術センター

研究交流会

福岡県工業技術センターとの研究交流会を2024年12月に開催しました。当日は福岡県工業技術センターから4名の研究員の方々を招いて研究交流を行い、本学の教職員や学生が参加しました。今後はより一層交流を深めて、互いに研究を促進していく予定です。



令和6年度 研究等に係る外部資金獲得の状況(令和7年1月末時点)

種別	件数	金額
共同研究	15	1,000,000円
受託研究	3	2,598,000円
寄付金 ※研究助成含む	5	2,100,000円
科学研究費助成事業(日本学術振興会)研究代表者分	28	25,580,000円
科学研究費助成事業(日本学術振興会)研究分担者分	30	7,003,500円



女性リーダーシップセンター

詳細はこちら



本学の基本理念「次代の女性リーダーを育成」の取り組みを加速するため、2022年4月に設置しました。同センターでは、リーダーシップに関する教育、研究、社会実践及び社会貢献を体系的に推進します。リーダーとしての実践能力を体系的に涵養する学生向けプログラムを構築するとともに、社会人女性向けの研修も充実させ、国内女子大学におけるトップリーダー人材育成の拠点となることを目指しています。(学生向けプログラムについては、P.22のグローバルリーダー副専攻プログラム(GLP)を参照ください)

また、学生等を対象とした研究者育成のための「学術研究助成金交付事業」にも取り組んでいます。

社会人女性の活躍支援

女性トップリーダー育成研修

2016年度にスタートしたトップリーダーとして成長するための心構えを重視した研修です。産学官のトップリーダーによる講話や対話、グループディスカッション等を通じて、女性トップリーダーとして成長するための志や感性、行動する力など、必要な素養を身につけます。加えて受講生・修了生との交流会や産学官トップとの意見交換会を通じて、業種や職種を超えた人的ネットワークの形成を図ります。さらに研修のメインテーマとして、これからトップリーダーに求められる既成概念や固定観念に捉われない新たな価値を想像する力を養うため、「自分起点」を軸に価値に革新を起こす「アート思考」によるワークショップや様々な講義等を通じ、新たな世界を切り拓き、社会を牽引する人材の育成を目指します。

過年度修了生数:180名



福岡キャリア・カフェ

本事業は、2023年度に福岡県の委託を受けてスタートしました。県内で働く女性たちが、様々な分野で活躍するロールモデルとの対話や交流を通じて、自分らしいキャリアを見出す機会を提供しています。活動内容として、定期的なイベントの開催、LINEを活用した交流、ロールモデルとの個別マッチングを実施。

2024年度には、地域展開として北九州・筑後・筑豊地区において出張カフェも開催しました。その結果、2024年度末には会員数が1,100名を超えるなど、多くの女性がキャリア形成の一歩を踏み出す場となっています。

イベント参加者数:延べ884名 登録モデル数:92名



学術研究助成金交付事業

専門的知識と実践的能力を備えた次代の女性リーダーの育成を目的として、本学の学生(学部生・大学院生)及び卒業生(修了生を含む)が行う調査・研究活動を助成する制度です。本助成制度の活用を通して、男女共同参画社会の実現や将来その研究成果を社会に還元することを期待しています。

交付額	5万円/件
対象者および採択件数	公募枠 男女共同参画社会の実現に資する調査・研究、活動等において特に成果が期待できると認められる個人または団体。代表者は本学学生または卒業生であること。3名(件)以内
推薦枠 修士論文に取り組む大学院博士前期課程2年次に在籍する者で、将来その研究成果を社会に還元することが期待できると当該学生が在籍する研究科の長が認めた者。「人間環境科学研究科」及び「人文社会科学研究科」より各2名、計4名。	

2024年度採択された研究テーマ

- 【公募枠】(1件)
 - 食事バランスガイド遵守スコアと循環器疾患と動脈硬化のリスクマーカーであるLOX-indexとの横断的関連
- 【推薦枠】(4件)
 - 泡膜の黒膜状態に及ぼす種々の対イオンの効果の熱力学解明
 - 説得テクノロジを活用した幼児期環境教育プログラムの開発・検討
 - 打ち言葉における文体混用について
 - 中国女尊小説から見る女性生存ジレンマに関する考察—晋江文学城を例に

詳細はこちら



国際フードスタディセンター

詳細はこちら



食と栄養を通して、すべての人々の尊厳と幸福を探求する最先端の研究と実践・実証を行うため、「食をつなぎ創造する」をコンセプトに2022年4月に設置しました。人々が、住み慣れた地域で共に暮らし、安心して健やかな人生を過ごすための、食と栄養の研究拠点として「食と栄養の課題解決型研究」と「新たな食の創造(チーム型)事業」に取り組み、食と栄養を次代に向けて創造し、グローバルな視点から包摵社会構築の支援を目指します。

○ 教育事業<EATプログラム>

グローバルな視野を持つ「食のスペシャリスト」育成を目的に福岡女子大学、梨花女子大学校(韓国)、マヒドン大学(タイ)とで共同実施するプログラムです。2024年8月は本学で約1週間のプログラムを実施し、各大学より10名ずつ、およそ30名が参加しました。プログラムでは、アジアの食への理解を深め、持続可能な食と社会への問題意識を高めるとともに、国際寮での共同生活を通して、国際性を涵養し、他分野や異文化理解を深めました。



※この他、アメリカで食と環境について学ぶ、「Davisプログラム」を実施しています。

○ 研究事業<リサーチコア>

「尊厳あるエイジングを目指すバックキャスト型の社会実装研究」(2023~2027年度)

本研究では、「尊厳あるエイジング」を目指し、そのためには、何が必要か、食と栄養の面からニーズ調査も含め検証し、様々な領域の専門家から成るリサーチコアメンバー間で、各領域の専門家の意見をもとに課題解決提案へと深化させ、その結果を基に社会実装すること目的としています。2024年度は、食事中のアミノ酸の取り方と脂肪量との関係や朝食を食べるタイミングと認知機能についての検証を行いました。



○ アウトリーチ事業

スマソる?市民公開講座 『塩対応』de健康づくり

太田雅規教授が、2024年11月から2025年2月にかけて福岡県内の8ヶ所で、「塩対応de健康づくり」と題した講演を行いました。人体と塩の関係や、塩を感じる仕組みなどを整理したうえで、塩との上手な付き合い方を学べる内容は大変わかりやすいと好評でした。



食品表示特別セミナー

一般社団法人食品表示検定協会と福岡県に本社のある一番食品株式会社より講師を招聘し、食品表示特別セミナーを開催しました。当日は、食・健康学科の学生を中心に、教職員を含めた58名が参加し、食品表示の知識は、毎日の暮らしの中で役立つだけでなく、資格を取得することが、就職やその後のキャリアパスを考える上で大変有効であることを学ぶ機会となりました。



ワンヘルス講演

ハワイ大学のジェリッサ・チン・チョー先生による「One Health in Hawai'i and Fukuoka」と題する講演には、学生・教職員あわせて65名が参加し、熱心に聴講しました。学生も英語で質問するなど、幅広い視点で「健康」を捉えるワンヘルスについての理解を深める良い機会となりました。

なお、福岡県では、2023年4月にハワイ大学との間で「ワンヘルス推進に関する覚書」を結び、県内大学におけるワンヘルス教育の促進に向けた取り組みを進めています。2025年度から県内8つの大学によるワンヘルスに関する講義がはじまり、本学からも3科目を提供する予定です。



就職支援

キャリアを形成し、
社会へと羽ばたく力を身につける

少人数制ならではの特長を活かし低学年からの充実したサポート体制を整えています。一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を行い、納得のいく就職につながるよう、きめ細やかにサポートします。

2024年度 就職実績

99.0%

区分	国際文理学部			合計
	国際教養学科	環境学科	食・健康学科	
2023年度	99.2%	98.4%	100%	99.0%
2022年度	99.1%	100%	100%	99.5%
2021年度	97.6%	96.9%	100%	97.8%
2020年度	94.4%	95.1%	95.2%	94.7%
2019年度	97.0%	100%	100%	98.3%



各学科の就職・進学実績についてくわしくはこちら

■ 国際教養学科 P.26
■ 環境学科 P.30
■ 食・健康学科 P.34

支援体制

就職対策講座

年間を通して就職対策講座を実施。自己分析セミナーや業界・企業研究講座、インターンシップ対策講座、マナー講座、模擬面接など充実した内容です。

内定者座談会

4年生の内定者が3年生以下の在学生に対して、就職活動についてのアドバイスを行います。

公務員対策講座

公務員を志望する学生を対象に公務員対策講座を開講します。専門学校同様のボリュームで筆記試験から面接まで充分な対策を立てることができます。

インターンシップ

学生自らの専攻や未来のキャリアに関連する企業や官公庁などで就業体験をします。ビジネスの現場を体験することで、自己の適性を確認する機会となります。

学内企業研究セミナー

色々な業界の人事担当者をお招きし、本学在学生のみを対象とした就職説明会を実施しています。

就職相談

キャリア支援グループにおいて個別就職(進路)相談を実施。就職活動を中心に将来への漠然とした不安や悩みと一緒に考えます。気軽に相談できる環境が整っています。

キャリアカウンセリング

卒業後の人生を考えることで、就職だけではなく、結婚や出産・育児などライフイベントも視野に入れた中・長期的なキャリアデザインの形成をサポートします。

就活ハンドブック

3年次に大学オリジナルの就活ハンドブックを配布します。各種手続きについての説明、就職活動の支援の内容、就職支援システムの使い方、卒業生の就職先一覧などを掲載しています。

求人閲覧システム

インターネット上で利用できる就職支援システムにより、学外からでも企業の求人票などを閲覧することができます。また先輩の就職活動体験記を閲覧することができます。

OGカフェ

本学卒業生をお招きして、カフェ形式で自由に仕事のことや、キャリアについて相談する機会を提供します。

就職・進学について
気軽にご相談ください



就職支援員コラム

「就職活動はどう始めればいいの?」「自分に合う仕事が分らない」など、就職活動や進路に関する悩みや不安を感じている方は、ぜひキャリア支援グループにお越しください。

本学は学生と教職員との距離が近く、きめ細かいサポートを行っています。個別相談ではキャリアコンサルタントの資格を持つスタッフが一人ひとりに寄り添って将来を考えるお手伝いをします。

また、イベントや講座の企画では就職市場はもとより、皆さんの意見を反映させること大切にしています。

福岡女子大学でたくさんの学びを通して、あなたらしい未来を描いてみませんか。



学内施設紹介

University Facilities

1 正門

国道3号線と国道495号線沿いに正門があります。正門のすぐ横に西鉄バスの「福岡女子大前」バス停があり、とても便利です。

2 地域連携センター/ スポーツキューブ

社会人・小中高生向けの講座や企業・行政と連携した研究、地域交流イベントなどを実施しています。スポーツキューブは体育の授業などに使用する体育館で、学生・教職員が自由に使用できるジムがあります。

3 カフェ「空とたね」

旬の野菜をたっぷり使った日替りランチのほか、ドリンク、お菓子、デザート、福岡や佐賀の農産物の販売も行っています。一般の方もご利用いただけます。

4 附属図書館 …P.47

5 美術館 …P.48

6 屋上庭園

図書館棟の3階にある屋上庭園には、植物が植えられており、心地よい風が吹き抜けています。

ます。ベンチや東屋があり、憩いの場となっています。

7 講義棟

授業が行われる講義棟には、少人数から多人数まで対応できる、様々な広さの教室があるほか、情報処理演習室があります。中ホール(C201)には、同時通訳室を備え、国際会議も開催できます。

8 研究棟A棟

研究棟には、実験室や実習室、研究室などがあります。研究棟A棟の1階の多目的演習スペースには美術品が展示されています。可動式のテーブルとイスがあり、学生が自由に使って、グループ学習などを行っています。

9 本部棟

大会議室や役員室をはじめ、事務の窓口や保健室があります。

10 国際学友寮 なでしこ …P.11

11 サークル棟

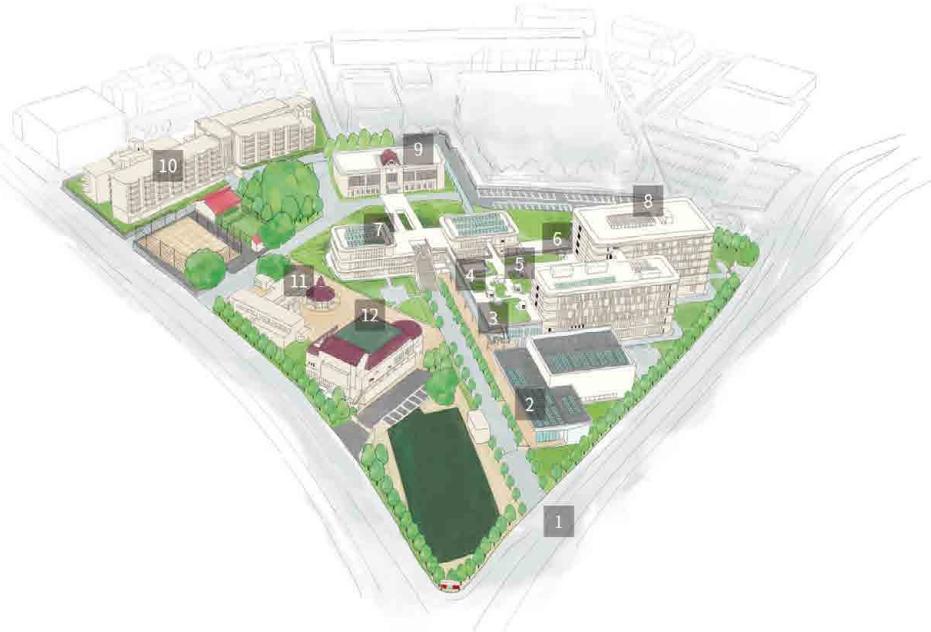
サークル棟には、サークル室、合宿所、音楽やダンスの練習室、茶室、学生談話室などが機能的に配置されており、学生や教職員のコミュニケーションの場として活用されています。

12 1F: 生協Jショップ/食堂

大学生協は、学生や教職員が資金を出し合って組織・運営しています。食堂では安心・安全、かつ美味しい食事、Jショップでは、教科書や文具、おにぎり、パン、お弁当、サラダやお菓子、アイス、日用品などを販売しています。

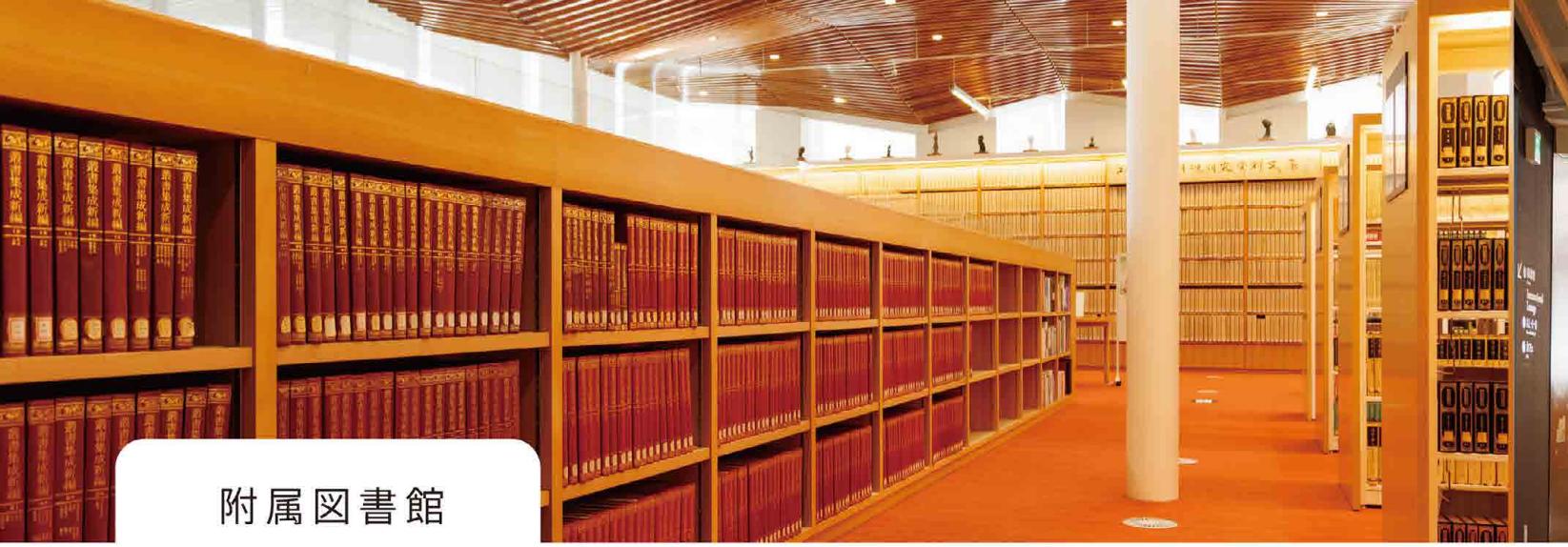
2F: 大学会館

2階大ホールは474席の客席が設置されており、様々な催しに使用されています。



有意義な学生生活を送るための
快適な教育空間を備えたキャンパス。

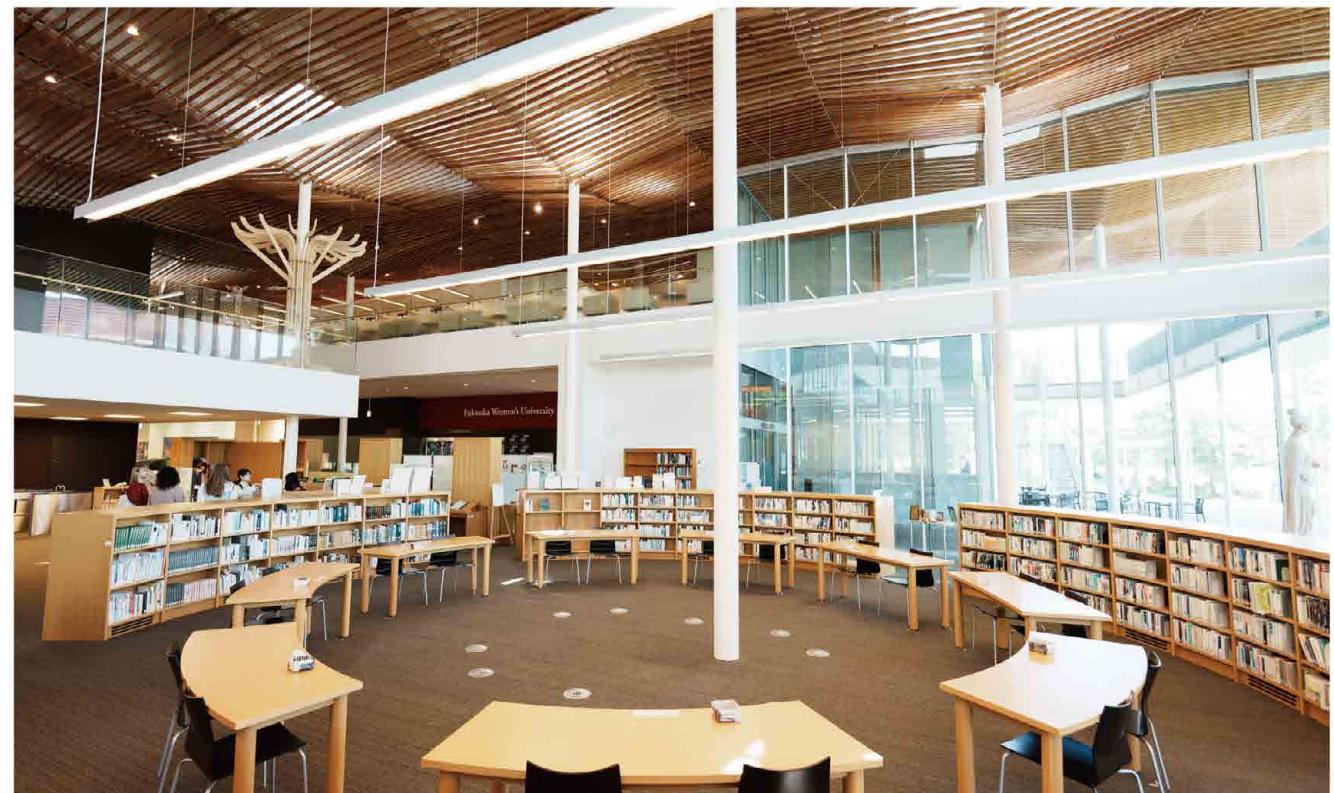




附属図書館



美術館



福岡県産の杉の木がふんだんに使用され、晴れの日にはガラスの壁面や天窓から柔らかな光が降り注ぐ本学図書館は、文字どおり「本の森」とでも言うような温かな雰囲気に包まれています。2015年にグッドデザイン賞を受賞した建築デザインは、学内外の皆様に大変ご好評いただいています（蔵書数：約21万冊）。

「森崎和江文庫」、「村上祥子料理研究資料文庫」等、著名な本学卒業生の蔵書や研究資料を集めたコーナーを含め、図書館の蔵書の多くは広く学外の皆様にも公開しています。ぜひご活用ください。

また、本学図書館には「ラーニング・コモンズ」があります。ラーニング・コモンズは、複数の学生や教員がつどい、主体的に活動を行うことができ、ディスカッションやプレゼンテーションの練習、語学学習等の幅広い学習スタイルを可能にする空間です。また、ラーニング・コモンズでは、ミニ講演会や小規模なイベント等の開催も可能で、毎年様々なイベントが開催されています。



附属図書館
最新の情報はこちら

本学美術館は2016年に開館し、地域社会の文化的な発信基地として、独自の成長を続けています。春は定期的に企画展を開催しており、一年を通して寄贈作品による常設展と特別展（不定期）をご鑑賞いただけます。

本学美術館の特徴としては、美術館という特別なスペースを持たず、図書館棟をはじめとして、大学全体に美術品が展示されている点です。この展示方法によって学生はもとより学外の方も、図書館や大学の校舎内を楽しむことができます。

静かな非日常空間へ、どうぞお立ち寄りください。



美術館
最新の情報はこちら

100周年記念美術品展示室



創立100周年を記念して制作していた絵皿をはじめ、大学所蔵の特に貴重な美術品や大学の歴史を感じることができる資料を集めています（観覧には事前申し込みが必要です）。



キャンパスカレンダー

Campus Calendar

仲間とふれあいながら、楽しく充実した毎日を。

サークル活動

Club Activities

学生自身が自ら企画し、準備し、運営していく活動。

サークルは、活動を通じて幅広い人間性と豊かな教養を身につけ、健全な心身を育成することを目的としています。
サークルに参加することにより、新たな自分自身を発見し、生涯を通じて語り合える友人も得られます。
本学には、次のようなサークルがあります。*は同好会

文化系サークル

裏千家茶道部
美術部
マンドリンクラブ
文藝部
表千家茶道部
E.S.S
雑貨工房
国語教育研究会
企業取材サークルFUN
しょくぱねっと(食育ボランティア)
写真部
Aloe(栄養関係)
書道部
JaM Bang!(楽器演奏)
えこるしぇ(環境活動)

スポーツ系サークル

箏曲部 和み
Plus1(資格取得)
STUDY FOR TWO(教育支援ボランティア)
合唱サークルConpas
福岡女子大学フィルハーモニーーオーケストラ
競技かるた愛好会
FWU国際交流
Share&Discuss(ディベート)
華道部
放送サークル
天文部
インドカレー同好会*
福岡ちゃん(地域研究)*

弓道部
民族舞踊研究部
舞蹈研究部
海BOUZ(スキーバダイビング)
SISTERS(バスケットボール)
Hapigola☆(ダンス)
陸上競技部
マンネリ時代(ダンス)
福岡女子大学漕艇部
Heptagon(学内運動)
剣道部
WINsome Ballers(バスケットボール)
moimoi(モルック)*
まるかいでテニス*
Wings(バドミントン)*

*2025年4月1日現在



4 APRIL

- 定期健康診断
- 「国際学友寮 なでしこ」入寮式
- 入学式
- オリエンテーション
- 就職ガイダンス[3年生]
- アカデミック・アドバイザー(AA)との面談週間[1年生]
- AAとの面談期間[1年生、環境科学科/食・健康学科2・3年生]
- 1Q(クォーター)授業開始
- 留学説明会及び個別相談会



5 MAY

- イングリッシュ・ビレッジ
- FWU杯
- 教育実習[4年生]
- 1Q試験

6 JUNE

- 2Q授業開始
- 学生大会
- 校外実習(小中学校)[食・健康学科3年生]
- AAとの面談期間[1・2年生]

7 JULY

- 2Q試験

8 AUGUST

- オープンキャンパス
- 夏季休業
- キャンパス見学 & 相談会



9 SEPTEMBER

- 3Q授業開始
- AAとの面談期間[1・2年生]

10 OCTOBER

- 留学説明会及び個別相談会
- 臨地実習
(公衆栄養学 保健所実習)[食・健康学科3年生]
- 大学祭(かすみ祭)



かすみ祭

11 NOVEMBER

- イングリッシュ・ビレッジ
- 学生大会
- 3Q試験
- 4Q授業開始
- AAとの面談期間[1年生、環境科学科/食・健康学科2年生]

12 DECEMBER

- 教職員学生協議会
- 卒業研究発表会[食・健康学科]
- 冬季休業

1 JANUARY

- 4Q試験

2 FEBRUARY

- 臨地実習
(臨床栄養学 病院実習)[食・健康学科3年生]
- 卒業研究発表会[国際教養学科・環境科学科]

3 MARCH

- 卒業式
- 春季休業
- キャンパス見学 & 相談会



卒業式

2027年4月 新学科設置計画について^{※1}

近年、グリーン(GX^{※2})及びデジタル(DX^{※3})を中心とした理工系分野の人材不足が我が国の課題とされ、特に、大学等における理工系分野への女性の入学者が少ないことが指摘されています。本学では、こうした社会の動向を受け、2027年4月に現在の「環境科学科」を改組し、新たに「環境理工学科(仮称)」「生活情報工学科(仮称)」の設置を計画しています。

※1 設置計画は予定であり、内容は変更することがあります。

※2 GX(グリーントランスフォーメーション):化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造を、クリーンエネルギー中心へ転換する取り組みのこと。

※3 DX(デジタルトランスフォーメーション):デジタル技術によってビジネスや社会、生活の形・スタイルを変えること。



New! 環境理工学科

(仮称・設置構想中)

定員	30名
学位	環境理工学(工学分野)

教育目標

生態系・資源循環・エネルギー等の環境に関する知識や調査・評価技術を修得させ、自然科学的なアプローチによって、脱炭素化や環境保全をはじめとした現代社会の様々な環境に関する課題に取り組むことができる人材を育成するための教育研究を行う。



定員	40名
学位	生活情報工学(工学分野)

教育目標

生活者の視点から生活工学・情報工学・社会工学の知見に基づいて、様々な社会課題の解決に必要な関連知識や分析・評価技術を修得させ、デジタル技術を活用したより良い暮らしや持続可能な社会の実現に取り組むことができる人材を育成するための教育研究を行う。



予想される進路

- 関連する分野の大学院
- 中学校・高等学校の理科教員
- 企業(環境部門・研究部門)
- 公的機関(環境部門・研究部門)
- 化学系・バイオ系研究者
- 環境コンサルタント
- 企業でのSDGs推進担当 など

目指す資格や免許

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- バイオ技術者(中級・上級)
- 危険物取扱者(甲種) など

予想される進路

- 関連する分野の大学院
- 情報通信関連企業(システムエンジニア/セキュリティエンジニア/データサイエンティスト/Webエンジニア)
- 高等学校の情報科教員、中学校・高等学校の家庭科教員
- 公務員(行政職/技術職)
- 住宅関連企業(ハウスメーカー/住宅設備メーカー)
- 不動産ディベロッパー
- プロダクトデザイナー関連企業
- その他、情報・データ活用を進める様々な業種 など

目指す資格や免許

- 基本情報技術者試験 / 応用情報技術者試験
- 統計検定
- 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 中学校・高等学校教諭一種免許状(家庭)
- 二級建築士試験受験資格
- インテリアプランナー / インテリアコーディネーター など

学費・奨学金

学費	入学者区分		県内者		県外者	
	入学料		282,000円		520,000円	
	授業料(内前期分授業料)		535,800円(267,900円)		535,800円(267,900円)	
	合計		817,800円		1,055,800円	

その他納入金	入学者区分		国際教養学科・環境科学科		食・健康学科			
	後援会費(入会金・年会費)		40,000円・10,000円					
	保険料(日本人学生/4年間分)		4,010円	4,080円				
	保険料(留学生/4年間分)		40,060円	40,130円				
	自治会費(4年間分)		15,000円程度					
	合計		【日本人学生】69,010円 【留学生】105,060円		【日本人学生】69,080円 【留学生】105,130円			

*本学では、初年次の1年間、「国際学友寮 なでしこ」での全寮制教育を実施します。そのため、別途寮費(月額15,000円(寄宿舎使用料、水道光熱費、活動費、維持・更新費含む))が必要となります。入居時のみ、前払い清掃費用(実費)を納付していただきます。*留学生については学生生活を24時間補償する「外国人留学生向け学研付帯学生生活総合保険」(略称:インバウンド付帯)に全員加入いただいております。

奨学金の種類	(学部生対象)月額					
	給付		貸与			
	区分	自宅通学	自宅外通学	区分	自宅通学	自宅外通学
	第一区分	29,200円(33,300円)	66,700円	第一種(無利子)	45,000円	40,000円・51,000円
	第二区分	19,500円(22,200円)	44,500円		20,000円・30,000円	
	第三区分	9,800円(11,100円)	22,300円	第二種(有利子)	20,000~120,000円のうち 1万円単位で額を選択可能	
	第四区分(多子世帯)	7,300円(8,400円)	16,700円			

*()内は、生活保護(扶助の種類を問わない)を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人の金額です。

*日本学生支援機構奨学金のより詳しい内容はホームページをご参照ください。<https://www.jasso.go.jp> ※上記以外にも地方自治体が各種団体が実施する奨学金制度があります。

奨学金給付・貸与人数	日本学生支援機構の給付・ 貸与奨学金(2024年度入学者)	学生区分・種別		給付	貸与	
		第一種(無利子)	第二種(有利子)		第一種(無利子)	第二種(有利子)
		学部生	127		200	135
		院生	—		7	1
		合計	127		207	136

2025(令和7)年度入試 地域別出願・入学者数

高校所在地	国内		海外		
	出願者数	入学者数	高校所在地	出願者数	入学者数
北海道	1	0	兵庫県	9	1
茨城県	1	0	奈良県	1	1
群馬県	1	0	和歌山县	4	1
埼玉県	1	0	島根県	2	1
千葉県	4	1	岡山県	3	1
東京都	1	1	広島県	13	3
神奈川県	2	0	山口県	6	2
山梨県	3	0	徳島県	2	0
静岡県	1	0	香川県	5	2
愛知県	5	1	媛県	16	7
京都府	1	0	高知県	2	2
大阪府	3	0	福岡県	541	155
			合計	792	230

*その他の高校認定試験・大検など

国籍	出願	入学
韓国	18	7
中国	6	4
ベトナム	3	0
タイ	2	2
マレーシア	1	1
ミャンマー	1	1
ネパール	1	0
アメリカ合衆国	1	1
カナダ	1	0
合計	34	16

*帰国生特別選抜者は出身高校所在地による

2025(令和7)年度入試 入学者の出身校一覧

千葉県 鎌ヶ谷	高知県 高知追手前・高知学芸	長崎県 長崎東・長崎西・長崎北・佐世保南・諫早・島原・対馬・鎮西学院
東京都 桜丘	福岡県 京都、小倉、小倉西、戸畠、八幡、宗像、新宮、香椎、福岡、筑紫丘、福岡中央、城南、修猷館、筑紫中央、筑紫、明善、伝習館、八女、朝倉、田川、嘉穂、鞍手、古賀竟成館、春日、筑前、須恵、香住丘、博多青松、近畿大学附属福岡、福岡大学附属大濠、福岡大学附属若葉、岡山一宮、中村学園女子、九州産業大学付属九州産業、福岡第一、福岡工業大学附属城東、福岡雙葉、福岡舞鶴、立花、明光学園、九州産業大学付属九州、自由ヶ丘	熊本県 渋々賀、第二、熊本北
愛知県 名古屋大学教育学部附属	兵庫県 別府鶴見丘、大分舞鶴、大分雄城台、大分西、日田、大分農府、大分東明	大分県 別府鶴見丘、大分舞鶴、大分雄城台、大分西、日田、大分農府、大分東明
兵庫県 星陵	奈良県 宮崎大宮、宮崎南、宮崎北、宮崎学園、鵬翔	宮崎県 宮崎大宮、宮崎南、宮崎北、宮崎学園、鵬翔
奈良県 高田	和歌山県 甲南、鹿児島中央、加治木、大島	鹿児島県 甲南、鹿児島中央、加治木、大島
和歌山県 開智	島根県 西南学院、筑紫女学園、筑陽学園、昭和薬科大学附属	沖縄県 那覇、普天間、名護、那覇国際、昭和薬科大学附属
島根県 松江東	岡山県 中村学園女子、九州産業大学付属九州産業、	その他 高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定
岡山県 岡山一宮	広島県 福岡第一、福岡工業大学附属城東、福岡双葉、福岡舞鶴、立花、明光学園	
広島県 高陽、広島、近畿大学附属広島(東広島校)	佐賀県 佐賀西、唐津東、鳥栖、鹿島、佐賀清和	
山口県 防府、宇部	香川県 松山第一、三木	
香川県 愛媛大学附属	愛媛県 松山北、宇和島南	
愛媛県 佐賀県		

入試実績

入試区分	学科	募集人数(A)	志願者(B)	志願倍率(B/A)	受験者数	合格者数	追加合格者数	入学者数
一般選抜	国際教養学科	73	161	2.2	138	80	0	74
	環境科学科	35	92	2.6	76	40	0	40
	食・健康学科	21	58	2.8	50	24	0	24
	小計	129	311	2.4	264	144	0	138
後期	国際教養学科	25	157	6.3	54	28	0	21
	環境科学科	15	114	7.6	36	20	0	13
	食・健康学科	3	38	12.7	15	4	0	3